

KENWOOD

AVINO

マイクロハイファイ コンポーネント システム

SG-5MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、
ありがとうございました。

機器を正しく、安全にご使用いただくため、
使用を開始する前に必ず、別冊の「安全上
のご注意」をお読みになり、十分にご理解
ください。

使いかたの説明も、併せてよくお読みくだ
さるよう、お願いいたします。

また、取扱説明書は大切に保管して、必要に
なったときにくり返してお読みください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国
で使用することはできません。



株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXT

Mini
Disc

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

●商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9

(大阪) 電話 (06) 6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)

●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

B60-4394-10 01 (MA) (J) [AP] 9906

本機の特長

CD→MD High Speed (倍速) ダビング対応^{ハイ スピード}—40

CDからMDへカンタン、短時間でダビングできる便利な機能です。(CD全曲録音のみ対応)

省電力設計

電源オフ(スタンバイ)時の消費電力は0.25W以下に設計されています。

インテリアに溶け込む質感あるデザイン

オーディオも部屋のインテリアのひとつです。フロントパネルからボリュームつまみにいたるまで素材と質感にこだわり、シルバーアルミ材を採用しました。

世界初、マルチファンクションキー(マルチキー)搭載

シンプルなデザインで使いやすい、新発想の操作キーを採用しました。表示部の下に配置された5つのキーで、CD、MD、チューナーのほとんどの機能をカンタンに操作できます。

スリムなデザインに3枚CDチェンジャー+MDを装備^{プラス}

コンパクトサイズのポディーに3枚CDチェンジャー+MDを実現させました。BGMとして長時間CDの音楽を楽しむことももちろん、シングルCDの録音もカンタンにできます。

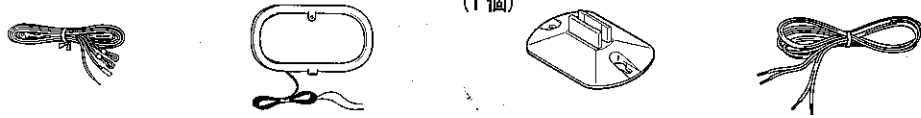
サンプリング・レート・コンバーター搭載

BS/CSチューナーなど、衛星放送のデジタル録音ができる光デジタル入力端子を装備しました。

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

FM 室内アンテナ(1本) AM ループアンテナ(1個) AMループアンテナスタンド (1個) スピーカーコード(2本)



リモートコントロール(リモコン)ユニット(1個) リモコン用単3電池(2本)



スタンバイ・モード(状態)について

本機は電源プラグがコンセントに接続されているとき、電源をオフにする^{スタンバイ タイマー}とstandby/timerインジケータが点灯します。メモリー保護のため、微弱な通電を行っているためです。これを"スタンバイ・モード(状態)"といいます。

- standby/timerインジケータが点灯しているときは、リモコン操作によっても電源のオンができます。
- スタンバイ状態でselect/demoキー(リモコンSETキー)を押すと、表示部が5秒間時計表示になります。

音質、タイマー、表示部、その他の諸設定について(諸設定モード)

select/demoキーとvolume/multi controlつまみを組み合わせた操作で下記の機能を調節、調整することができます。



volume/multi controlつまみを回すたびに設定項目が以下のように変わります。(詳しくは参照ページをご覧ください。)



- select/demoキーを押してから5秒以上操作をしないで放置すると、諸設定モードは自動的に解除されます。
- menuキーを押してメニューモードになっている間はselect/demoキーを押しても諸設定モードになりません。input/homeキーを押してメニューモードを解除してください。
- select/demoキーを押して諸設定モードになっている間はvolume/multi controlつまみを回しても音量の調節ができません。音量の調節するにはinput/homeキーを押して諸設定モードを解除してください。

デモンストレーションについて

本機の様々な動作状況を表示部に次々に表示する(デモンストレーション)機能です。デモンストレーション表示は、実際の操作と聴いている音には関係なく変化します。この機能はお好みで実行、解除することができます。

- 電源がオンのとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に"DEMO ON"になります。
- ソース(音源)がチューナーで"DEMO ON"のときは、受信する電波が弱いと音が出ません。

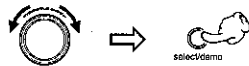
AUTO POWER SAVE機能について

電源がオンのとき、録音も再生もしていない状態で、約30分以上放置すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になる機能です。この機能はお好みで、設定、解除することができます。

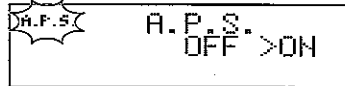
- 1 select/demoキーを押す



- 2 volume/multi controlつまみを回して"A.P.S.?"を選び、select/demoキーを押す



- 3 再度volume/multi controlつまみを回して"ON"(設定)または"OFF"(解除)を選び、select/demoキーを押して確定する



- この機能が設定されているときは、表示部左上に"A.P.S."が点灯します。
- ソース(音源)がチューナーまたはAUX/TAPEの場合、音量が"0"のとき、または"MUTE"が点灯しているときに限りオートパワーセーブが働きます。

デモンストレーション解除(DEMO OFF):

デモンストレーション実行中にselect/demoキーを押す"DEMO OFF"がスクロール表示されます。

デモンストレーション実行(DEMO ON):

電源がオンのときにselect/demoキーを2秒以上押す"DEMO ON"がスクロール表示されます。



表示部の調節について

CONTRASTの調節

本体表示部のコントラストを調節することができます。

- ① 電源がオンのとき、select/demoキーを押す



- ② volume/multi controlつまみを回して"CONTRAST?"を選び、select/demoキーを押す



- ③ 再度volume/multi controlつまみを回してお好みのコントラスト("0"~"15")を選び、select/demoキーを押して確定する

● お買い上げ時のコントラストにワンタッチで戻すには、電源がオンのとき、menuキーを2秒以上押しします。

BACK LIGHTの調節

本体表示部の明るさを調節することができます。

- ① 電源がオンのとき、select/demoキーを押す



- ② volume/multi controlつまみを回して"BACK LIGHT?"を選び、select/demoキーを押す



- ③ 再度volume/multi controlつまみを回してお好みの明るさ("HIGH"、"LOW")を選び、select/demoキーを押して確定する

● SLEEPタイマー動作中は、BACK LIGHTの調節をすることはできません。

準備編

音を出す前に

接続のしかた	6
各部のなまえと働き	10
本体部	10
表示部	11
リモコン部	12
リモコンの使いかた	13
マルチキーの使いかた	14

基礎編

「聴く」、「録る」の基本です

基本的な使いかた	16
CDを聴く	18
MDを聴く	20
聴きたい曲をタイトルで探す (タイトルサーチ)	22
ラジオ放送を聴く	24
放送局を一局ずつ記憶させる (マニュアルプリセット)	25
放送局をオートプリセットする (エリア別FM放送局名自動表示)	26
放送局名リスト	27
MDに録音する	28

応用編

楽しさが広がります

CDやMDのいろいろな再生(メニューモード) ...	31
曲順を並べ替えて聴く(PGMモード再生)	31
繰り返し聴く(REP.モード再生)	34
ランダム再生を楽しむ(RANDOMモード再生) ...	37
便利な録音あれこれ	39
録音のタイプを選ぶ	39
CDの全曲、1曲をワンタッチで録音する (ワンタッチエディット録音)(O.T.E.)	40
CDの全曲をワンタッチで倍速録音する (HIGH O.T.E.)	40
CDの全曲をワンタッチで録音する (O.T.E.)	41
CDで再生中の一曲だけをワンタッチで録音する (一曲O.T.E.)	41
曲順を並べ替えて録音する (PGMモード再生+O.T.E.)(プログラム録音)	42
複数のCDの1曲目だけを再生、録音する (BEST HITSプログラム機能)	44

MDの編集機能	46
---------	----

編集機能のタイプを選ぶ	46
曲順をまとめて入れ替える(QUICK MOVE)	47
曲順を1曲ずつ入れ替える(MOVE)	49
曲を分ける(DIVIDE)	51
曲をつなぐ(COMBINE)	53
曲をまとめて消す(QUICK ERASE)	55
1曲ずつ消す(ERASE)	57
MD内の曲を全て消す(ALL ERASE)	58
ミニディスクや曲にタイトルをつける	59
タイトルをコピーまたはメモして、他の ミニディスクや曲につける (TITLE COPY)(TITLE MEMO)	64
編集した内容を取り消す(EDIT CANCEL)	66
外部ソース機器を聴く	67
時刻合わせ	69
タイマーを使う	70
簡単にタイマーを設定する (O.T.T.タイマー)	70
音楽を聴きながら眠る(SLEEPタイマー)	71
毎日働くタイマーを設定する (PROG.タイマー)	72

知識編

知っているのと何かと便利です

知っておきましょう	75
メンテナンス	75
参考	75
故障かな?と思ったら	78
保証とアフターサービス (よくお読みください)	82
定格	83

システム(本体)と付属品の接続

⚠ 注意 接続のご注意

接続をするときは、図のように行なってください。アンテナ、スピーカなどの接続が終了してから、最後に電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作しなかったり、表示部が誤った表示をする場合は、「マイコンをリセットするには」を参照してマイコンをリセットしてください。



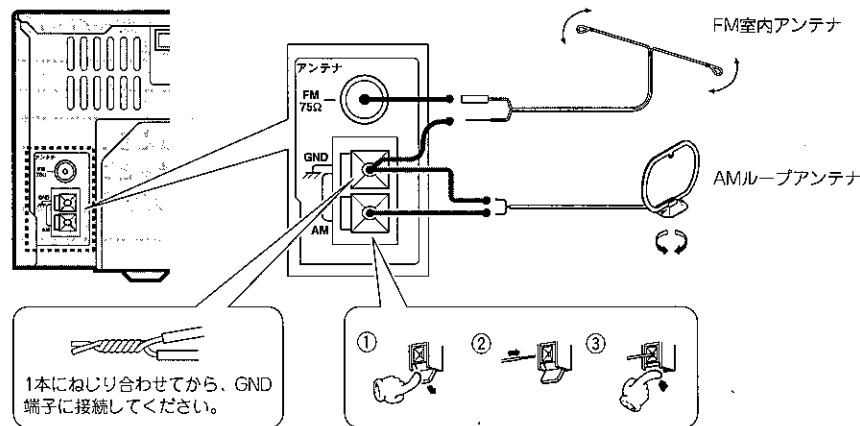
⚠ 注意 設置のご注意

本機の天板の上に本などを置くことはできませんが、本機底面には放熱用の空気取り入れ口があるため、じゅうたんなど柔らかい平面に本機を置くと空気取り入れ口がふさがれ、十分な放熱効果が得られません。かならず棚の上などかたい平面に置いてください。

スピーカーの設置とテレビについて

1. 本機のスピーカーは、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再び電源をオンにしてください。テレビの自己消磁機能により、色ムラが改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、テレビからスピーカーを離して設置してください。
2. 近くに磁石など磁気が発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置の際はご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、本機の電源がオフ(スタンバイ)のときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

付属アンテナの接続



AMループアンテナ

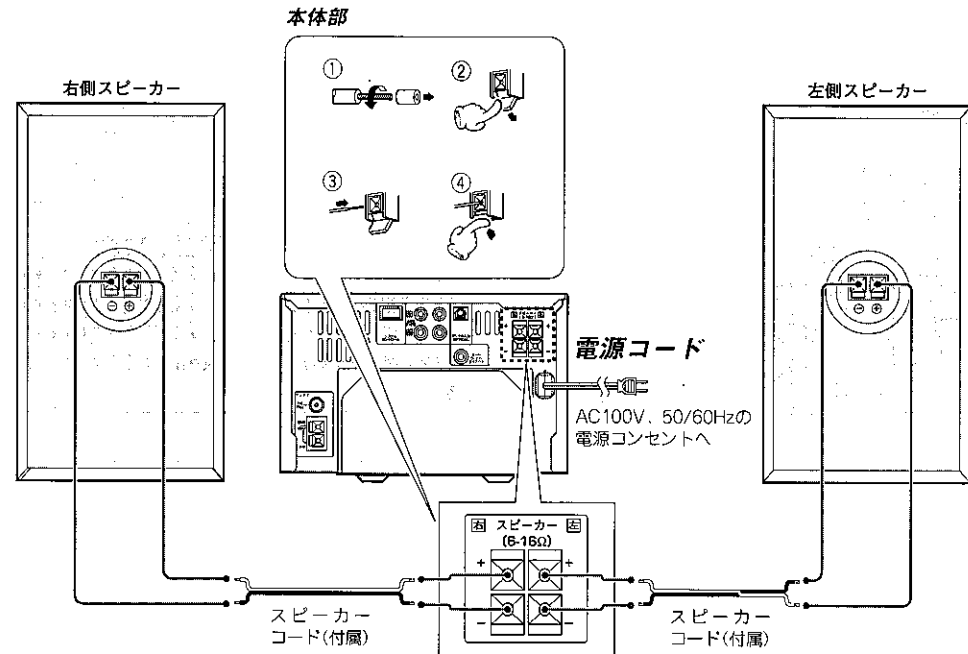
付属のアンテナは室内用です。本体、テレビ、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

FM室内アンテナ

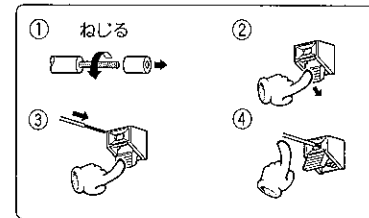
付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続するとき、室内アンテナは取り外してください。

- ① アンテナ端子に接続する
- ② 受信状態のよい位置をさがす
- ③ 固定する

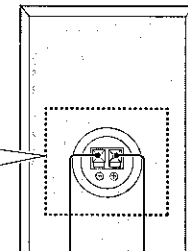
スピーカー接続



スピーカー部



スピーカー背面

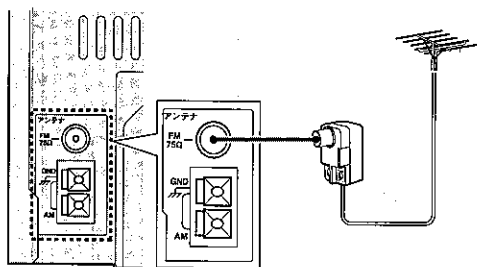


- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。
- スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください。
- スピーカーの左右を逆にしたたり、極性(+)と(-)を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。

他の機器(別売品・市販品)との接続

FM屋外アンテナとの接続

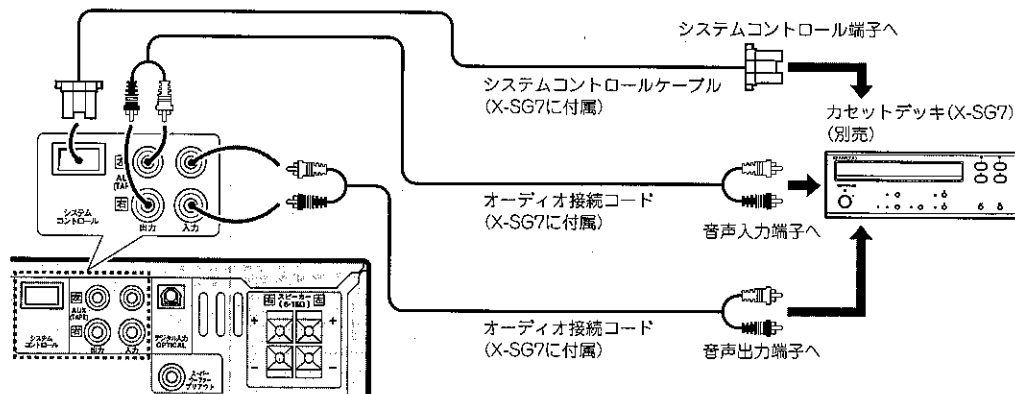
75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続するときは、FM室内アンテナは取り外してください。



⚠ 注意 屋外アンテナ設置上のご注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要なので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れて送配電線に触れた場合、感電の原因になることがあります。

カセットデッキ(X-SG7)(別売)との接続

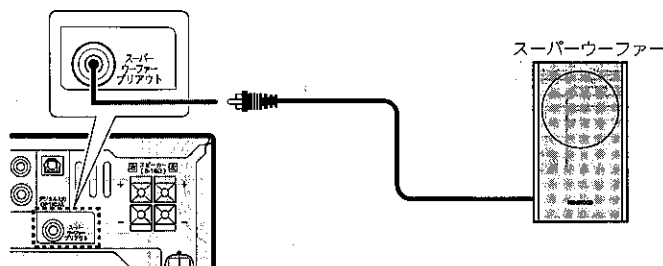
カセットデッキに付属のオーディオ接続コードとシステムコントロールケーブルを使って、本機背面のAUX (TAPE) 出力、入力端子とシステムコントロール端子に接続します。カセットデッキに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。



別売のカセットデッキ(X-SG7)を接続して、再生や早送りなどの基本機能やワンタッチ録音などを本機で操作することができます。- (88)

スーパーウーファー(SW-1010)(別売)との接続

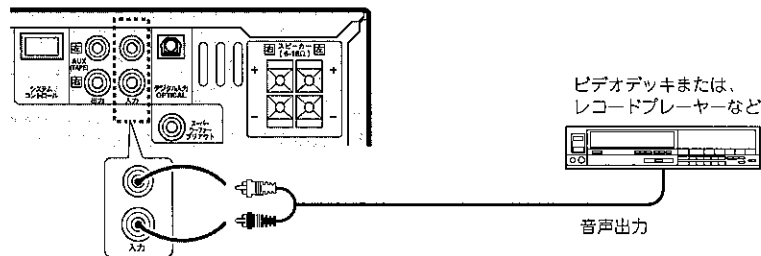
重低音を力強く再生します。どのような再生のときでも使用できます。



外部ソース(音源)機器との接続

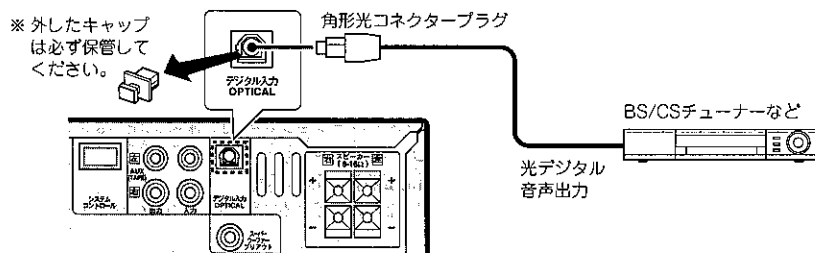
アナログ接続の場合

本機背面のAUX (TAPE) 入力 端子を使って、ビデオデッキやRIAAイコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤー(P-110)(別売)などを接続することができます。

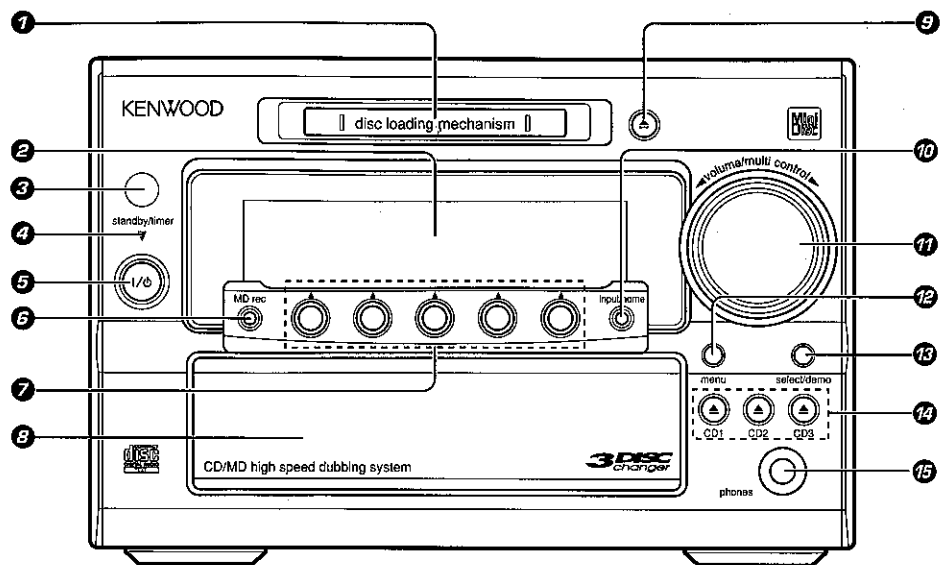


デジタル接続の場合

本機背面のデジタル入力OPTICAL端子を使って、BS/CSチューナーなどのデジタル機器を接続することができます。



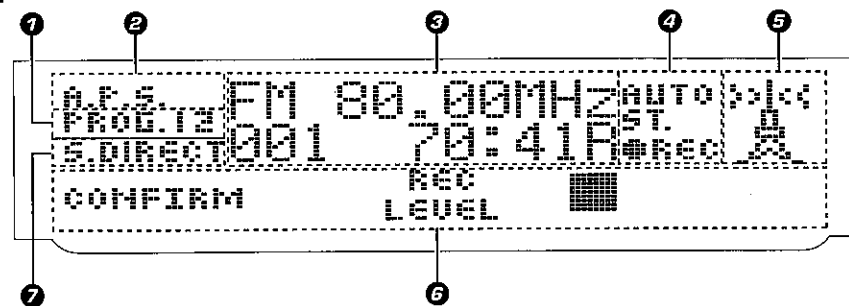
本体部



- ① ミニディスク挿入口
- ② 表示部
- ③ リモコン受光部リモコン受光部 - [13]
- ④ standby/timerインジケータ
スタンバイ状態(電源がオフ)：赤の点灯
タイマースタンバイ状態(電源がオフ)：緑の点灯
通電状態(電源がオン)：消灯
- ⑤ I/Oキー - [16]
電源のオン/スタンバイを切り換えます。
- ⑥ MD recキー - [29]
MDに録音するときに使います。
- ⑦ マルチキー - [14]
CD、MD、チューナーなどソース(音源)や設定によって機能が切り換わります。
- ⑧ CDトレイ - [18]
ディスクを3枚まで収納することができます。

- ⑨ ▲キー
ミニディスクを取り出すときに使います。
- ⑩ input/homeキー
マルチキーをソース(音源)選択キーにするときに使います。 - [14]
メニューモードや諸設定モード、録音モード、MD編集モードを解除するときに使います。 - [31] - [40] - [42]
- ⑪ volume/multi controlつまみ - [3] - [16]
音量の調節や諸設定モード時の項目選択に使います。
- ⑫ menuキー - [16] - [31]
各ソース(音源)の応用操作を行うときに使います。
- ⑬ select/demoキー
時刻合わせのときに使います。 - [39]
スタンバイ状態で時計表示をするときに使います。 - [39]
諸設定を行うときに使います。 - [3]
デモンストレーションの実行、解除に使います。 - [32]
- ⑭ ▲CD1-3キー - [18]
- ⑮ phones端子 - [16] - [17]
ステレオミニプラグ付きのヘッドホン(別売)を接続します。

表示部



- ① タイマー表示
O.T.T. - [20]
O.T.T.タイマー設定、待機、動作中に表示します。
PROG. - [22]
PROG.タイマーの設定、待機、動作中に表示します。
- ② A.P.S.表示 - [3]
オートパワーセーブ中に表示します。
- ③ 周波数、時間、トラック番号、プログラム番号、ソース切り換え、音量、ディスク/トラックタイトルなどの文字情報を表示します。
- ④ 再生、受信、録音モード表示
ソース(音源)がCDのとき
PGM - [31]
PGMモード中に表示します。
REP. - [34]
REP.モード中に表示します。
RANDOM - [37]
RANDOMモード中に表示します。
O.T.E. - [40]
ワンタッチエディット録音中に表示します。
BEST HITS - [44]
BEST HITSプログラムモード再生中に表示します。
ソース(音源)がMDのとき
PGM - [31]
PGMモード中に表示します。
REP. - [34]
REP.モード中に表示します。
RANDOM - [37]
RANDOMモード中に表示します。

ソース(音源)がチューナーのとき - [25]

AUTO
オート選局中に表示します。マニュアル選局/モノラル受信中は表示しません。

ST.
ステレオ受信中に表示します。マニュアル選局/モノラル受信中は表示しません。

チューナー、外部ソース機器の録音時 - [29]

●REC
録音中に表示します。

■IREC
録音一時停止中に表示します。

⑤ ソース(音源)表示
選択中のソース(音源)をグラフィカル(絵)表示します。

⑥ マルチキー表示 - [14]
マルチキーの働きを文字やシンボルで表示します。

⑦ 音質表示

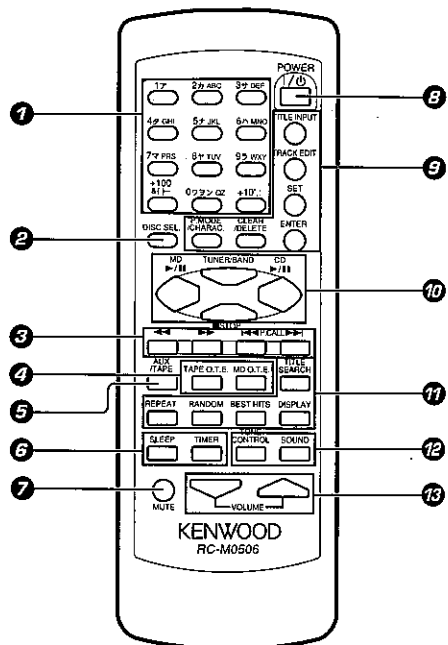
N.B.
N.B.の動作中に表示します。

S. DIRECT
ソースの音声信号をダイレクトにパワーアンプに出力しているときに表示します。

TONE
N.B.、S.DIRECTが解除されている場合、TONE CONTROL機能が音質を調整したときに表示します。

MUTE - [22]
一時的に音を消しているとき(ミュート中)に表示します。

リモコン部



型名：RC-M0506
赤外線方式

- ① 文字入力/+10、+100、テンキー
MD、CDのトラック番号選択に使用します。-[19]-[21]
チューナーのプリセットコールに使用します。-[24]
MD編集時、アルファベット、カタカナ、数字、記号の入力に使用します。-[60]
- ② DISC SEL.キー-[19]
CDチェンジャーのディスクを選ぶときに使用します。
- ③ 基本操作キー
◀▶キー
ソース(音源)がCD、MDのとき-[19]-[21]
曲の早送り、早戻しに使用します。
ソース(音源)がチューナーのとき-[26]
周波数から放送局を選ぶときに使用します。
◀▶P.CALL▶▶キー
ソース(音源)がCD、MDのとき-[19]-[21]
曲の飛び越し(スキップ)に使用します。
ソース(音源)がチューナーのとき-[24]
記憶させた放送局をプリセット番号から選ぶときに使用します。

- ④ ワンタッチ録音キー
MD O.T.E.キー-[41]
CD再生中に押すと、再生中の曲だけを、停止中に押すと、CD全曲をMDに録音します。
TAPE O.T.E.キー
別売のカセットデッキ(X-SG7)を接続したときに使用します。CD再生中に押すと、再生中の曲だけを、停止中に押すとCD全曲を別売のカセットデッキのテープに録音します。
- ⑤ AUX/TAPEキー-[62]
外部ソース(音源)機器を聴くときに使用します。
- ⑥ タイマーキー
SLEEPキー-[21]
SLEEP(おやすみ)タイマーを設定するときに使用します。
TIMERキー-[21]-[24]
各種タイマーの実行、解除をするときに使用します。
- ⑦ MUTEキー-[17]
一時的に音を消したいときに使用します。
- ⑧ 1/0キー-[16]
電源のオン、スタンバイを切り換えます。
- ⑨ CD PGM再生/MD編集キー
TITLE INPUTキー-[59]
ディスク/トラックタイトルを入力するときに使用します。
TRACK EDITキー-[42]
MDを編集するときに使用します。
SETキー
ソース(音源)がCD、MDのとき
MD編集の設定や確定などに使用します。-[42]
タイトル表示などを切り換えるときに使用します。-[19]-[21]
ソース(音源)がチューナーのとき-[26]
オートプリセットした放送局名を変えるときに使用します。
スタンバイ状態のとき-[66]
時計表示をするときに使用します。
- ENTERキー
ソース(音源)が、MDのとき-[46]
MD編集や、入力したタイトルの確定などに使用します。
ソース(音源)がチューナーのとき-[26]
マニュアルプリセットの確定に使用します。
- P.MODE/CHARAC.キー
ソース(音源)がCD、MDのとき-[31]-[60]-[61]
PGM再生および入力文字グループの選択に使用します。
ソース(音源)がチューナーのとき-[26]
選局方法を選ぶときに使用します。
- CLEAR/DELETEキー-[33]-[40]-[56]-[61]
プログラムや入力文字の取り消しに使用します。
- ⑩ 基本操作キー(入力切り換え/再生/停止など)
MD▶/IIキー、CD▶/IIキー、■STOPキー、
TUNER/BANDキー-[19]-[20]-[24]

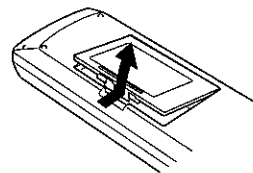
- ⑪ 再生モード/その他のキー
REPEATキー-[34]
CD、MDを繰り返し再生するときに使用します。
RANDOMキー-[37]
CD、MDの曲順を順不同に再生するときに使用します。
BEST HITSキー-[44]
CDのベストヒッツ再生/録音をするときに使用します。
DISPLAYキー
ソースがCD、MDのとき-[19]-[21]
再生時間表示を切り換えるときに使用します。
ソースがチューナーのとき-[26]
周波数表示と時計表示を切り換えるときに使用します。
TITLE SEARCHキー-[22]
MDの曲をタイトルから探すときに使用します。

- ⑫ 音質調節キー
TONE CONTROLキー-[17]
低音、高音の調整に使用します。
SOUNDキー-[47]
S.DIRECT、N.B.*1、およびT.CONTROL*2を選ぶときに使用します。なお、N.B.*1、S.DIRECT、およびT.CONTROLを重複して動作させることはできません。
*1 SOUNDキーを押すたびにN.B.1、2、解除の切換もできます。
*2 T.CONTROLはあらかじめ調節していない場合は表示はされません。
- ⑬ VOLUMEキー-[18]
音量の調節をします。

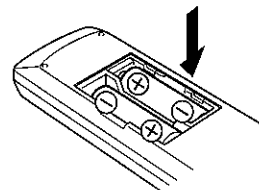
リモコンの使いかた

電池の入れかた

① カバーを開く

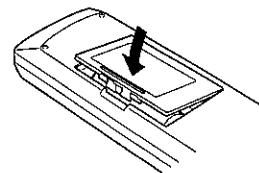


② 電池を入れる



●単3電池2個を極性(+)と(-)マークにしたがって入れる。

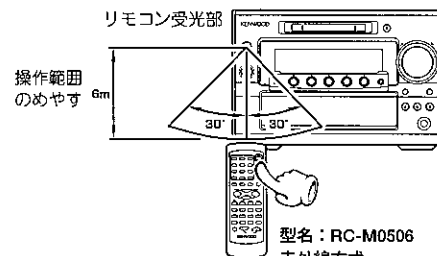
③ カバーを閉める



操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの1/0キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。
電源をスタンバイにするときは、再度1/0キーを押します。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、1秒以上の間隔をあけて押してください。

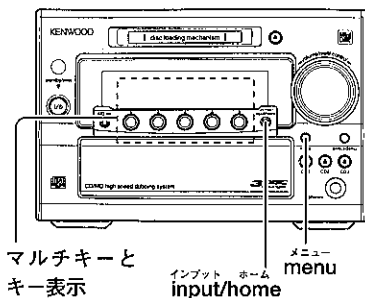


型名：RC-M0506
赤外線方式



- 付属の電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。
- 操作できる距離が短くなったなら、2個とも新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

本機では、マルチキー、input/homeキーおよびmenuキーを使って、多くの機能を簡単に操作(設定)できます。ここで紹介する操作の詳しい説明は参照ページにある操作手順をご覧ください。

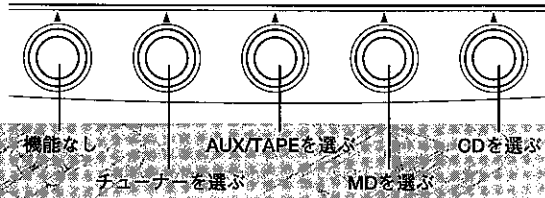


マルチキーとキー表示
input/home menu

マルチキーの機能は選択されているソース(音源)や動作状況によって変わります

(例1) ソース(音源)選択キー

電源をオンにした、CD、MDをセットした、あるいはinput/homeキーを押したとき、ソース(音源)を選択する機能になります。

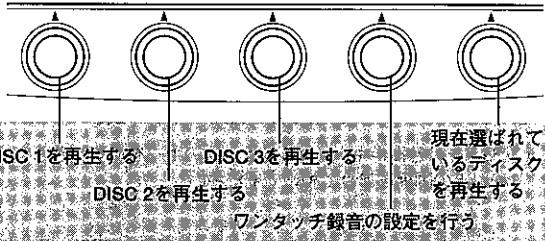


マルチキーの機能

別売のカセットデッキ(X-SG7)を接続して、再生や早送りなどの基本機能やワンタッチ録音などを本機で操作することができます。-[18]

(例2) CD停止中の基本操作キー

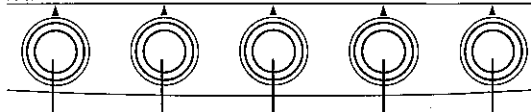
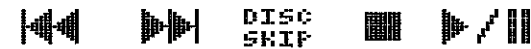
マルチキーの操作でソース(音源)をCDにしたとき、CD停止中にできる機能になります。-[19]



マルチキーの機能

(例3) CD再生中の基本操作キー

-[19]



マルチキーの機能

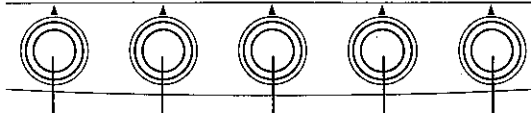
曲を飛び越す(戻る) 曲を飛び越す(進む) ディスクを選ぶ 再生/一時停止を切り換える 停止する

menuキーとのコンビネーションで様々な設定をおこないます(メニューモード)

(例4) チューナーのマニュアルプリセット

-[25]

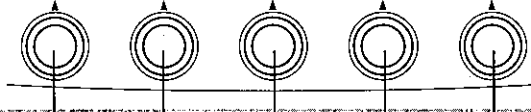
放送局を受信中に、menuキーを押す



マルチキーの機能

オートプリセットを選ぶ マニュアルプリセットを選ぶ オート/マニュアルを選ぶ 録音モードを選ぶ ひとつ前のマルチキー配列に戻る

マルチキー-MANUAL PRESETを押す

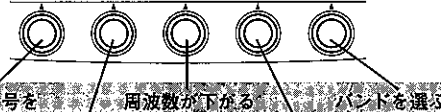


マルチキーの機能

プリセット番号を選ぶ(戻る) プリセット番号を選ぶ(進む) 選んだプリセット番号に放送局を登録する ひとつ前のマルチキー配列に戻る 機能なし

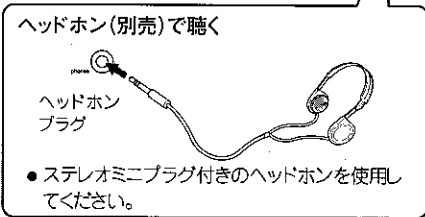
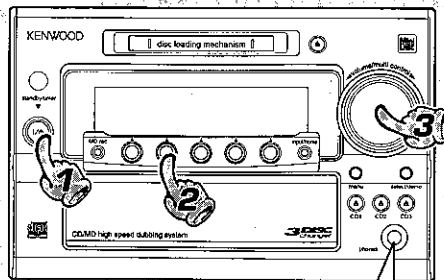
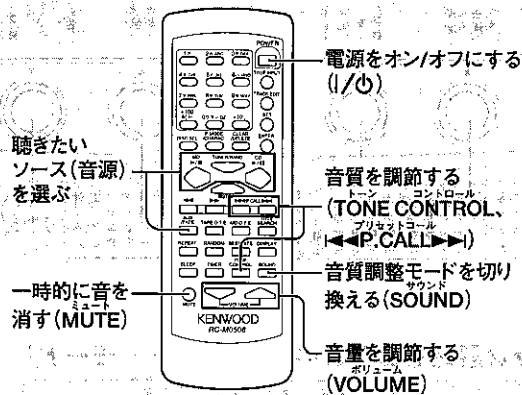
マルチキー<<<または>>>を押して記憶させたいプリセット番号を選んでからマルチキー-ENTERを押して放送局を登録する

登録が終わるとmenuキーを押す前の状態に戻ります。



マルチキーの機能

プリセット番号を選ぶ(戻る) プリセット番号を選ぶ(進む) 周波数が下がる 周波数が上がる バンドを選ぶ



1. 電源をオンにする (オフにする)



電源がオンのときにI/Oキーを押すとオフ(スタンバイ)になります。
 ●電源をオンしてから約5秒間は、回路保護のためミュート(音が出ない)状態になります。

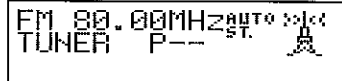


●マルチキーは約5秒間ソース(音源)選択キーになった後、電源をオフ(スタンバイ)にする直前のソース操作キーになります。

2. 聴きたいソース(音源)を選ぶ

放送局の選局やCD、MDの再生のしかたは、以下のページの操作手順をご覧ください。

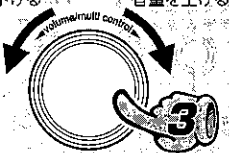
- マルチキー-CD → [18]
- マルチキー-MD → [20]
- マルチキー-TUNER → [24]
- マルチキー-AUX/TAPE → [27]



●リモコンのMD/II、TUNER/BAND、CD/III、AUX/TAPEキーを押してもソース(音源)を選ぶことができます。(MD/II、CD/IIIキーを押した場合は自動的に再生もはじまります。)

3. 音量を調節する

音量を下げる 音量を上げる

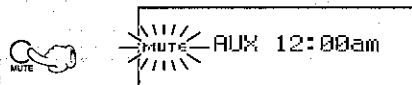


●早く回すと、変化量が大きくなります。(AI VOLUME機能)
 ●表示部に目安の数字(0~80)が表示されます。



目安の数字

一時的に音を消す (リモコンのみ)



- 元の音量に戻すにはもう一度MUTEキーを押します。
- VOLUMEキーで音量を操作したときもミュートが解除されます。

ヘッドホン(別売)で聴く

- ①ヘッドホン(別売)のプラグをphones端子に差し込む
- スピーカーから音が出なくなります。
- ②volume/multi controlつまみを回して音量を調節する
- プラグの抜き差しをするときは、あらかじめ音量を下げておいてください。

音質を調節する (TONE CONTROL)

- ①select/demoキーを押す
- ②volume/multi controlつまみを回して"TONE CONT. ?"を選び、select/demoキーを押す
- ③再度volume/multi controlつまみを回して"BASS"(低域)をお好みのレベル(-5~+5)に調節し、select/demoキーを押して確定する
- ④再度volume/multi controlつまみを回して"TREBLE"(高域)をお好みのレベル(-5~+5)に調節し、select/demoキーを押して確定する
- リモコンの場合、TONE CONTROLキーを繰り返し押し続けて"BASS"または"TREBLE"を選び、<P.CALL>キーを押してレベルを調節することができます。

ソース(音源)のオリジナルな音を聴く (S.DIRECT)

CDやMDなどソース(音源)の音を、本機の音質調整回路を通さずに、なるべく原音に忠実に聴くことができます。

- ①select/demoキーを押す



- ②volume/multi controlつまみを回して"S. DIRECT ?"を選び、select/demoキーを押す



- ③再度volume/multi controlつまみを回して"ON"を選び、select/demoキーを押す
- S.DIRECTを解除するには、手順⑥で"OFF"を選びます。

メリハリの効いた音にする (N.B.)

- ①select/demoキーを押す
- ②volume/multi controlつまみを回して"N.B. ?"を選び、select/demoキーを押す
- ③再度volume/multi controlつまみを回して音質("1", "2")を選び、select/demoキーを押して確定する
- N.B. 1は音量に応じて低音と高音を、N.B. 2は低音のみを強調します。
- N.B.を解除するには、手順⑥で"OFF"を選びます。
- リモコンのSOUNDキーでもN.B.を動作させることができます。SOUNDキーを押すたびに"N.B. 1", "N.B. 2"を選ぶことができます。

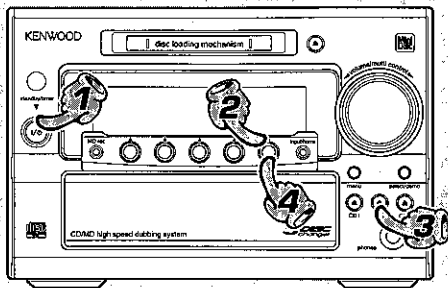
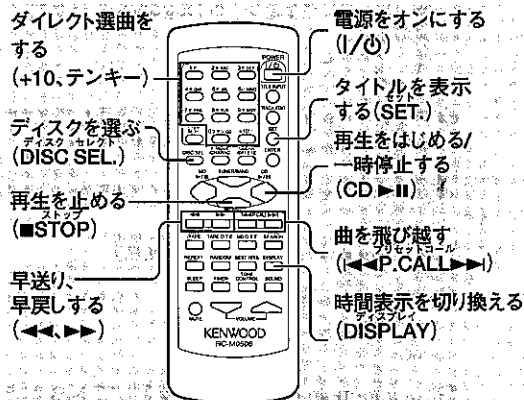
左右のバランスを調整する (BALANCE)

- ①select/demoキーを押す
 - ②volume/multi controlつまみを回して"BALANCE ?"を選び、select/demoキーを押す
 - ③再度volume/multi controlつまみを回して、バランスを調整し、select/demoキーを押して確定する
- バランスの設定の位置表示



右の音が小さくなる ← 中央 → 左の音が小さくなる

3枚のディスクを収納できます。再生中でも他の2枚のディスクの入れ替えができます。



1. 電源をオンにする



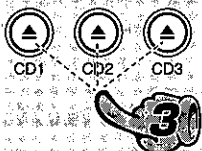
- マルチキーは約5秒間ソース(音源)選択キーになった後、電源をオフ(スタンバイ)にする直前のソース操作キーになります。

2. マルチキーCDを押す

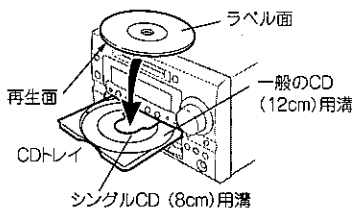


- マルチキーがソース(音源)選択キーになっていない(ソースが選べない)ときは、input/homeキーを押してください。

3. ディスクを入れる



- ① CDトレイを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ CDトレイを閉める



- ①~③を繰り返して、3枚までディスクを収納できます。
- CDトレイを閉める時は必ず▲CD 1-3キーを押して閉めてください。
- CDの再生面には、触れないようにしてください。
- 市販のCDシングル(8cm)ディスクあり ディスクあり ディスククアダプターは使用できません。(TOC*読後)(TOC*未読)なし



*故障かな?と思ったら*の脚注をご覧ください。-⑤⑥

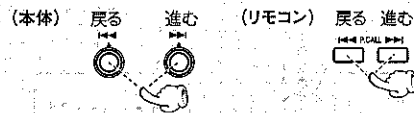
4. 再生をはじめ



- ディスク番号が表示されているディスクの再生がはじまります。
- 本機に複数のディスクが入っている場合、1枚の再生が終了したら次のディスクが自動的に再生されます。全てのディスクを再生して止まります。(リレー再生)



曲を飛び越す(スキップ)

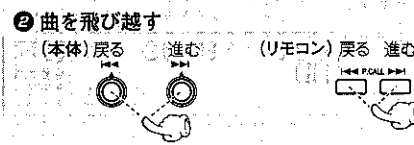


- 再生中にマルチキー◀または▶を押すと、曲を飛び越して選んだ曲の最初から再生します。前の曲に戻るには、マルチキー◀を連続して素早く押します。間隔をあけてゆっくり押したのでは、何回押してもその曲のはじめにしか戻りません。
- 再生中にマルチキー◀を1回だけ押すと、その曲の最初に戻り再生します。
- リモコンの場合、停止中でも◀P.CALL▶キーを押して曲をスキップすることができます。この場合、スキップした後自動的に再生がはじまります。

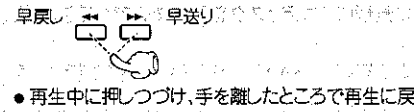
好きな曲から聴く



- ① ディスクを選ぶ (本体) 1 PLAY 2 PLAY 3 PLAY (リモコン) DISC SEL
- マルチキー1-3 PLAYから選んで押します。
- ② 曲を飛び越す (本体) DISC SKIP (リモコン) DISC SEL
- マルチキーDISC SKIPを押すたびにディスクが切り換わります。
- リモコンの場合、DISC SELキーを押すたびにディスクが切り換わります。

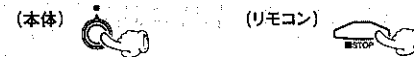


早送り・早戻しする(リモコンのみ)



- 再生中に押しつけ、手を離したところで再生に戻ります。
- 一時停止する (本体) PAUSE (リモコン) CD PAUSE
- ソース(音源)表示が点滅します。
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

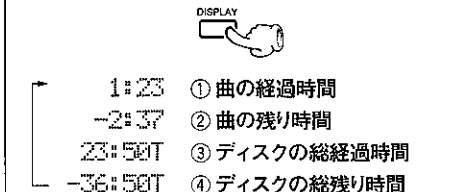


ディスクの置きかた

ディスクはトレイの溝に合わせて、正しく置いてください。(ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。)

CDの時間表示について(リモコンのみ)

CDの再生中、DISPLAYキーを押すたびに表示部の時間表示が切り換わります。



- プログラムまたはランダム再生時は、①と②のみの表示となります。

タイトル表示について(リモコンのみ)

CD TEXT対応ディスクを再生する場合、CD再生中(または停止中)にSETキーを押すと、CDに記録されている文字情報を表示部に表示することができます。SETキーを押すたびに、以下の項目が切り換わります。



- *1 再生中のみスクロール表示します。
- *2 スクロール表示します。

ダイレクト選曲について

リモコンの+10、テンキーを押して、聴きたい曲をカンタンに選ぶことができます。

23曲目を選ぶとき
+10, +10, 32, 06 の順に押す

30曲目を選ぶとき
+10, +10, +10, 02, 02 の順に押す

注意 レーザー光源をのぞかない
レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

ミニディスクを、取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

ダイレクト選曲をする(+10、+100、テンキー)

再生をはじめ/一時停止する(MD▶II)

再生を止める(■STOP)

早送り、早戻りする(◀▶)

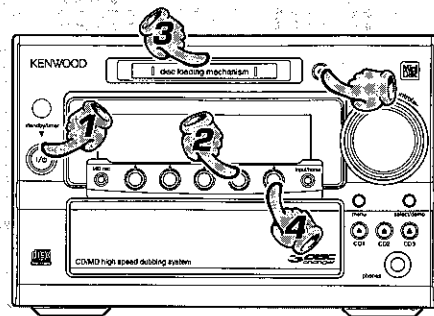
時間表示を切り換える(DISPLAY)

電源をオンにする(I/O)

タイトルを表示する(SET)

曲を飛び越す(◀◀P.CALL▶▶)

聴きたい曲をタイトルで探す(TITLE SEARCH)



1. 電源をオンにする



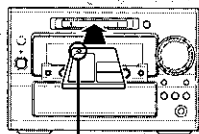
- マルチキーは約5秒間ソース(音源)選択キーになった後、電源をオフ(スタンバイ)にする直前のソース操作キーになります。

2. マルチキーMDを押す



- マルチキーがソース(音源)選択キーになっていない(ソースが選べない)ときは、input/homeキーを押してください。

3. ミニディスクを入れる



矢印の方向に入れる

ディスクを取り出すには



電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

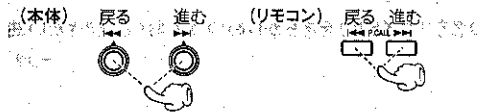
4. 再生をはじめ



- 再生中は、各曲の最初にトラックタイトル(曲名)を表示します。
- "READING"の点滅中にミニディスクにない曲を選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。

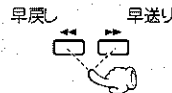
再生中の曲番号	再生中の曲の経過時間
001 MD	0:57
NO	TITLE
トラックタイトル	

曲を飛び越す(スキップ)



- 再生中にマルチキー◀◀または▶▶を押すと、曲を飛び越して選んだ曲の最初から再生します。前の曲に戻るには、マルチキー◀◀を連続して素早く押します。間隔をあけてゆっくり押したのでは、何回押してもその曲のはじめにしか戻りません。
- 再生中にマルチキー◀◀を1回だけ押すと、その曲の最初に戻り再生します。
- リモコンの場合、停止中でも◀◀P.CALL▶▶キーを押して曲をスキップすることができます。この場合、スキップした後自動的に再生がはじまります。

早送り、早戻りする(リモコンのみ)



- 再生中に押しつづけ、手を離れたところで再生に戻ります。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音は出ません。
- 一時停止中に早送り、早戻した場合、手を離れたところで一時停止に戻ります。

一時停止する



- ソース(音源)表示が点滅します。
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わりします。

再生を止める



アナログ長時間(モノラル)録音について

本機は、アナログ長時間録音されたミニディスクも再生できます。アナログ長時間録音の場合、再生時間(録音時間)は通常約2倍になりますが音声はモノラルになります。

- 本機でチューナーをアナログ長時間録音した場合、そのミニディスクを再生することができます。

注意 レーザー光源をのぞかない
レーザー光が目当たると、視力障害を起こすことがあります。

MDの時間表示について

DISPLAYキーを押すたびに表示部の時間表示が切り換わります。



- | | |
|---------|---------------------|
| 0:30 | ① 曲の経過時間 |
| -3:24 | ② 曲の残り時間 |
| 12:24T | ③ ミニディスクの総経過時間 |
| -53:24T | ④ ミニディスクの総残り時間 |
| 50:50R | ⑤ ミニディスクの録音可能な総残り時間 |

- ランダム再生時は、①と②のみの表示となります。
- プログラム再生時は、④はプログラムされた曲の総残り時間表示となります。
- 1曲も録音されていない場合、"BLANK DISC"と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます)。
- 再生専用MDでは、⑤は表示されません。

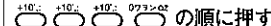
ダイレクト選曲について

リモコンの+10、+100、テンキーを押して、聴きたい曲をカンタンに選ぶことができます。

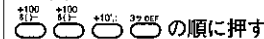
23曲目を選ぶとき



30曲目を選ぶとき



213曲目を選ぶとき



タイトル表示について (リモコンのみ)

MDの再生中(または停止中)にSETキーを押すと、ミニディスクに記録されている文字情報を表示部に表示することができます。

再生中にSETキーを押すと、トラックタイトル(曲名)が、停止中にSETキーを押すと、ディスクタイトル(ディスク名)がスクロール表示されます。



聴きたい曲をタイトルで探す (タイトルサーチ)

録音用ミニディスクの場合、ミニディスクに収録されている曲の名前(タイトル)をあらかじめつけておくと、聴きたい曲をタイトルから探すことができます。

- 69

① 停止中にマルチキー-TITLE SEARCHを押す

(本体)



(リモコン)



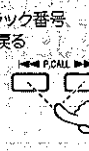
- リモコンの場合、停止、再生中どちらでもTITLE SEARCHキーを押してタイトルサーチをはじめることができます。

② マルチキー◀または▶を押して、タイトルを選ぶ

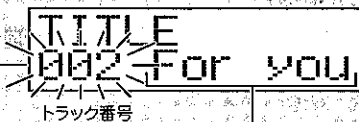
(本体)



(リモコン)



トラック番号が戻る トラック番号が進む トラック番号が戻る トラック番号が進む



トラック番号

タイトル

- タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"...."が表示されます。

③ マルチキー▶II(リモコンMD▶II)を押す。

(本体)



(リモコン)



- 選んだ曲の再生がはじまります。

途中でやめる

マルチキー-TITLE SEARCHを押す

(本体)

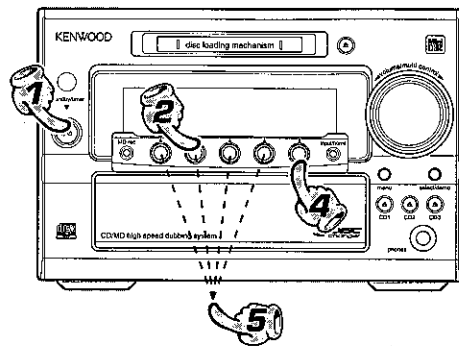
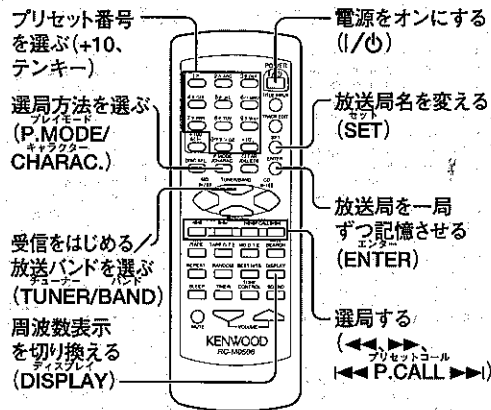


(リモコン)





放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。



1. 電源をオンにする



- マルチキーは約5秒間ソース(音源)選択キーになった後、電源をオフ(スタンバイ)にする直前のソース操作キーになります。

2. マルチキー-TUNERを押す

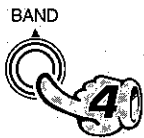


- マルチキーがソース(音源)選択キーになっていない(ソースが選べない)ときは、input/homeキーを押してください。

3. 放送局を記憶させる

- "放送局をオートプリセットする"手順に従い、お住まいの地域で受信できる放送局を自動的に記憶させてください。 - (28)
- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からこの手順は不要です。

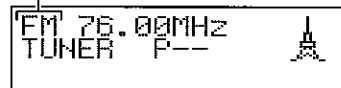
4. 放送バンドを選ぶ



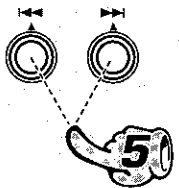
押すたびに切り換わります。

- ① "FM"
- ② "AM"

放送バンドの表示

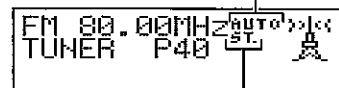


5. 選局する(プリセットコール)



- オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、マルチキー<<<または>>>を押して選局します。押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。
 マルチキー>>>を押すと... 1→2→3 38→39→40→1
 マルチキー<<<を押すと... 40→39→38 3→2→1→40.....
- リモコンでは、<<<P.CALL>>>キーあるいは+10、テンキーを押して選局します。

オート選局時に表示



ステレオ受信時に表示

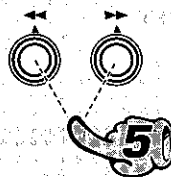
放送局を記憶させていない場合

オート選局のとき*: マルチキー<<<または>>>を押すと、次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき*: マルチキー<<<または>>>を受信するまで繰り返し押し、あるいはキーを押し続け、受信したい放送局の周波数になったら離します。

● リモコンでは、<<<または>>>キーを押して選局します。

* 下記"選局方法を選ぶ"を参照してください。



選局方法を選ぶ

お買い上げ時はオート選局/ステレオ受信になっていますが、電波が弱く雑音が多い場合はマニュアル選局/モノラル受信を選んでください。音声はモノラルになりますが聞き取り易くなります。

① menuキーを押す



② マルチキー-AUTO/MONOを押して"AUTO"を点灯させる

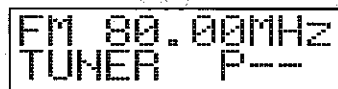


③ マルチキー-MENUを押して、設定を終了する

- 通常はオート選局にしておきます。
- オート選局に戻すには、手順②で"AUTO"を点灯させます。
- リモコンでは、P.MODE/CHARAC.キーを押して選局方法を選びます。押すたびにオート選局とマニュアル選局が切り換わります。

放送局を一局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット)

① 記憶させたい放送局を受信中にmenuキーを押す



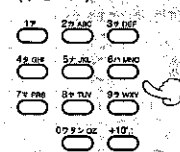
- リモコンのみで操作するとき、menuキーを押す必要はありません。

② マルチキー-MANU PREを押す(本体) (リモコン)



- リモコンでは、ENTERキーを押します。

③ マルチキー<<<または>>>を押して記憶させたいプリセット番号を選ぶ(本体) (リモコン)



プリセット番号の表示

- リモコンでは、+10、テンキーを押してプリセット番号を選びます。

④ マルチキー-ENTERを押してプリセットを確定する



- ひとつ前のマルチキー配列に戻るには、マルチキー-MENUを押します。
- 途中でプリセットをやめるときは、input/homeキーを押します。
- プリセットを続けるときは、手順①~④を繰り返します。
- 同じプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

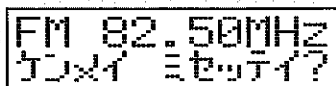
放送局をオートプリセットする (エリア別FM放送局名自動表示)

お住まいの都道府県名を設定すると、近くで受信出来る放送局が自動的にプリセット(記憶)されます。これらの放送局を受信すると、放送局名を(FM放送のみ)表示することができます。

① ソースがTUNERのときに、**メニュー**キーを押す



② マルチキー-AUTO PREを押す

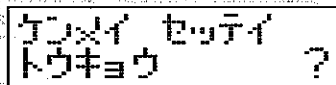


- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を登録していない場合は、「ケンメイ ミセッテイ?」と表示されます。
- ひとつ前のマルチキー配列に戻るには、マルチキー **MENU** を押します。

③ マルチキー◀または▶を押してお住まいの都道府県名を選ぶ



東京都を選択したとき

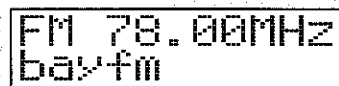


- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、「放送局名リスト」に従ってオートプリセットされます。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
- オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。放送局名表示は放送局名リストに載っているFM放送局のみに対応しています。
- ひとつ前のマルチキー配列に戻るには、マルチキー **MENU** を押します。

④ マルチキー-ENTERを押す



- 「AUTO PRESET」が点滅して順次FM局を記憶して、次にAM局を記憶します。



オートプリセット終了後、FM受信中は放送局名が表示されます。

チューナーの周波数表示について

(リモコンのみ)

放送局を受信中に**DISPLAY**キーを押すたびに表示部の表示が切り換わります。



- ① FM 80.00MHz (周波数表示)
- ② 3:00 PM (時刻の点滅表示)

希望の放送局名が表示されないとき(リモコンのみ)
放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、**SET**キーを押してリストにある別の放送局名に変えることができます。押すたびに放送局名が変わります。



放送局名リスト

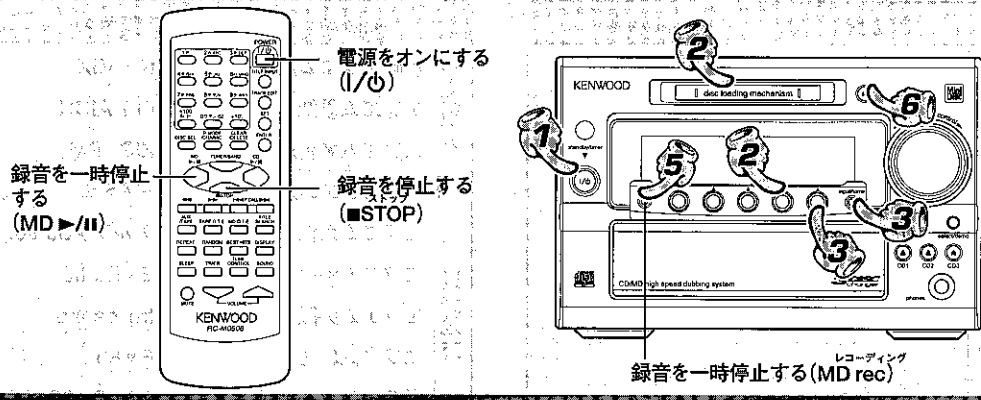
	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
	エフエム北海道	AIR - G'
北海道地方	エフエム・ノースウェーブ	north wave
	エフエム青森	FMアオモリ
東北地方	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	FMセンダイ
	エフエム秋田	Co - much FM
	エフエム山形	FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
	エフエム東京	TOKYO FM
関東地方	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
中部地方	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FMイシカワ
	福井エフエム放送	FMフクイ

1999年4月現在

	放送局	表示名
中部地方	静岡エフエム放送	K・MIX
	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E - Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
中国・四国地方	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
	エフエム山陰	V - air
	エフエム岡山	FMオカヤマ
九州・沖縄地方	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	FMトクシマ
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FMコウチ
	エフエム福岡	FM FUKUOKA
エフエム九州	CROSS FM	
九州・沖縄地方	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	FMナガサキ
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY - FM
	エフエム鹿児島	ミュ- FM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ1
	FEN オキナワ	FEN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

- 受信中の周波数に放送局名が登録されていない場合、または放送局を受信していない場合は、放送局名が表示されません。
- オートプリセットが終わると、一番最初にオートプリセットした放送局を受信します。受信中の周波数に放送局名が登録されていない場合は、「TUNER」と表示します。

レコーディング
ここで説明するMD recキーを使った録音方法は、主にチューナーと外部ソース機器を録音するときに便利です。
CDを録音するには"ワンタッチエディット録音(O.T.E.)"をお勧めします。 -[20]



録音を一時停止する (MD ▶/II)

電源をオンにする (I/⏻)

録音を停止する (■STOP)

録音を一時停止する (MD rec)

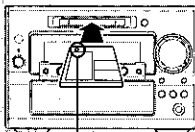
1. 電源をオンにする

- マルチキーは約5秒間ソース(音源)選択キーになった後、電源をオフ(スタンバイ)にする直前のソース操作キーになります。



2. MDの録音準備をする

- 録音可能なミニディスクをミニディスク挿入口に確実に入れてください。
- すでにミニディスクを再生しているときは、マルチキー■(リモコン■stopキー)を押してください。



矢印の方向に入れる
または



注意

電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。必ず電源をオンにしてください。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

3. 録音したいソースを選ぶ

- マルチキーがソース(音源)選択キーになっていない(ソースが選べない)ときは、input/homeキーを押してください。

録音するソース(音源)と録音形式および録音するソースを選ぶためのマルチキーは以下ようになります。

録音するソース(音源)	録音形式*3	ソース(音源)を選ぶキー
チューナー (ラジオ放送の録音)	(アナログ/アナログ長時間録音) -[30]	マルチキー-TUNER
外部ソース機器*1	(アナログ録音)	マルチキー-AUX/TAPE
外部ソース機器*2	(デジタル録音)	マルチキー-MD
CD	(デジタル/アナログ録音) -[30]	マルチキー-CD

*1 AUX (TAPE)入力端子に接続した外部ソース機器 -[30]
*2 デジタル入力OP/JCAL端子に接続した外部ソース機器を録音、再生する場合、ソース(音源)はAUX/TAPEではなくMDでMONITORモードにします。(手順4を参照してください) -[30]
*3 お買い上げ時の録音形式は、チューナーはアナログ、CDはデジタルになっていますが、必要に応じてそれぞれアナログ長時間、アナログに切り換えてください。 -[30]

(例)CDを選んだ場合



4. ソース(音源)の準備をする

マルチキー-TUNERを押したとき(チューナー)

選局をする

マルチキー-AUX/TAPEを押したとき(外部ソース機器、アナログ録音)

受信や再生などの準備をする

マルチキー-MDを押したとき(外部ソース機器、デジタル録音)

マルチキー-MONITORを押して"DIGITAL AUX"を表示させて(MONITORモードにして)から、再生などの準備をする

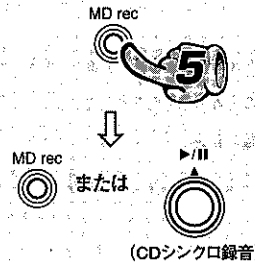
* "UNLOCK"と"DIGITAL AUX"が交互に点滅する場合は、"メッセージ表示の一覧"の"UNLOCK"をご覧ください。 -[30]

マルチキー-CDを押したとき(CD)

録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする

5. 録音をはじめ

- ① MD recキーを押す(録音一時停止状態になります)
- ② 準備ができていれば、再度MD recキーを押す(録音が始まります)
- ソースがCDのとき、マルチキー▶/IIを押すとCDの再生とMDの録音が始まります。(CDシンクロ録音)



③ ソース(音源)の再生をはじめ*

- 録音レベルの調整が必要な場合は、録音一時停止中に行います。 -[30]
- *チューナーの場合、またはCDシンクロ録音の場合は、この手順は不要です。

6. 録音終了後、ミニディスクを取り出す

- 録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。"MD WRITING"表示中に録音情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音を一時停止する



- 再度録音をはじめするには、MD recキー(リモコンMD▶/IIキー)を押します。このときトラック番号は"1"繰り上がります。
- CD録音中のみ、マルチキー▶/II(リモコンCD▶/II)を押して録音とCD再生を一時停止することができます。録音とCD再生を再開するにはマルチキー▶/II(リモコンCD▶/II)を押します。

録音を停止する

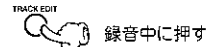


録音時のトラック番号について

CDからの録音では、曲の切り換わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。

外部入力機器からの録音のとき、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。(チューナー録音の場合は、トラック番号は繰り上がりません。)また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。不要なところをついたトラック番号は、あとで削除できます。もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中にリモコンのTRACK EDITキーを押すと、その位置にトラック番号をつけることができます。

トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。



チューナーの録音形式を選ぶ

(アナログ長時間(モノラル)録音)

長時間ラジオ放送を録音したい場合、使用するMDの通常録音時間の2倍の録音ができます。このとき音声はモノラルになります。

- ① 放送を受信中にメニューキーを押す



- ② マルチキー-REC INPUTを繰り返し押して "ANALOG MONO"を選ぶ



- ③ マルチキー-MENUを押して切り換えを終了する



- 通常のステレオ録音に戻すには手順②で "ANALOG" を選びます。
- アナログ長時間録音したミニディスクは、本機で正常に再生することができます。

CDの録音形式を選ぶ(ソースがCDのとき)

市販のCDをMDに録音する場合、録音形式はお買い上げ時と同じ "DIGITAL" (デジタル録音) を選びます。しかし、CD-RをMDに録音する場合、SCMS*によりデジタルで録音ができないことがあります。この場合は、録音形式を "ANALOG" (アナログ録音) に切り換えてください。

*詳しくは "SCMSについて" をご覧ください。

録音一時停止中に、マルチキー-ANALOGを押す



- 録音形式を "DIGITAL" に戻すには、録音一時停止中に、マルチキー-DIGITALを押します。



録音入力ソースの表示について

録音中にマルチキー-CONFIRMを押すと、現在録音中の録音入力形式 ("DIGITAL", "ANALOG", "ANALOG MONO") を表示します。



外部ソース機器の録音レベルを調整する

(ソースがMDのとき)

外部ソース機器のデジタル入力レベルを調整することができます。

- ① MDのMONITORモード*中に、マルチキー-REC LEVELを押す



- ② マルチキー-LEVEL▼またはLEVEL▲を押して好みのレベル (-20~+6) に調整する



- ③ マルチキー-RETURNを押して調整を終了する

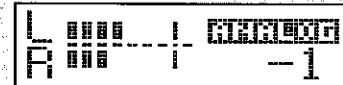
*"MDに録音する"の手順3と4を参照してください。 -28-29

録音レベルを調整する

- ① 録音または録音一時停止中にマルチキー-REC LEVELを押す



- ② マルチキー-LEVEL▼またはLEVEL▲ (リモコン) (P.CALL)を押して好みのレベル(アナログ録音時は-20~0、デジタル録音時は-20~+6)に調整する



- ③ マルチキー-RETURNを押して調整を終了する

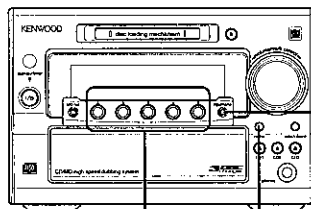
ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

- "DISC FULL" :ミニディスクが一杯になっている。
→不要な曲を消す。-55-56
- "PROTECTED" :誤消去防止つまみが開いている。
→閉める。 -76
- "PLAY ONLY" :再生専用ミニディスクである。
→録音用ミニディスクを入れる。

曲順を並べ替えて聴く (PGMモード再生)

ディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。CDの場合は、複数のディスクから選ぶことができます。(最大32曲)



input/home

マルチキー menu

あらかじめソースをCDまたはMDにしてください -18-20

はリモコンを使った操作手順を示します。
●PGMモード再生の場合、本体キーだけあるいはリモコンキーだけで操作してください。本体とリモコンの手順を取り混ぜて行うと正しく動作しないことがあります。

- 1 停止中にメニューキーを押す

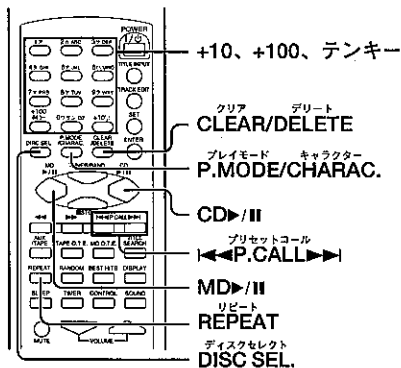
- 2 マルチキー-P.MODEを押す

1 P.MODE/CHARAC.キーを押す

- "PGM" が点灯し PGMモードになります。
- 停止中のみ、PGMモードにすることができます。

- 3 マルチキー-DISC 1-3を押してディスクを選ぶ(CDの場合のみ)

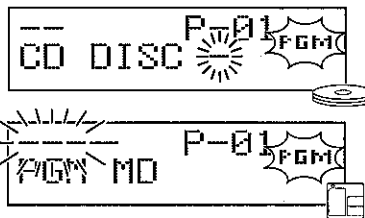
2 DISC SELを押してディスクを選ぶ(CDの場合のみ)



- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー-MENUを押します。
- メニューモードを解除するには、input/homeキーを押します。

- CD再生時の表示内容を示します。
- MD再生時の表示内容を示します。

マルチキー-P.MODEを押したときの表示例



ディスクを選んだ後の表示例(CDの場合のみ)



次のページにつづく

4 マルチキー◀または▶を押して曲を選ぶ

3 +10、+100、テンキーを押して曲を選ぶ
→(1)→(2)

5 マルチキーSETを押して曲を確定する

4 P.MODE/CHARAC.キーを押して曲を確定する
●確定した後しばらくの間、次の操作をしないとプログラム停止状態になります。プログラムを続けるときは、"曲を追加する"の手順でプログラムをします。→(3)

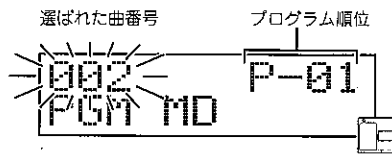
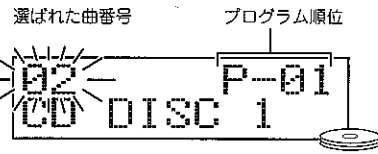
6 手順②～⑤(MDの場合は④と⑤)を繰り返してプログラムを続ける

最後の曲をプログラムするとき、マルチキーSETではなくマルチキーENTERを押して曲を確定します。

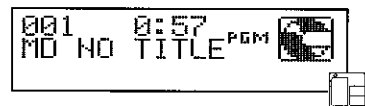
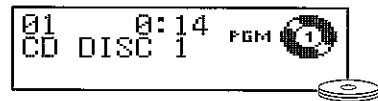
5 リモコンの手順2～4(MDの場合は3と4)を繰り返してプログラムを続ける
●32曲までプログラムできます。"PGM FULL"が表示されると、それ以上プログラムできません。

7 マルチキー▶/IIを押してプログラム再生をはじめる

6 CD▶/IIキー(MD▶/IIキー)を押してプログラム再生をはじめる
●プログラムした順(P-番号順)に再生します。
●PGMモード再生、停止中にマルチキーREP.(リモコンREPEATキー)を押すと、PGMモード再生を繰り返すことができます。



マルチキー▶/IIを押したときの表示例



プログラムした曲を取り消す

はリモコンを使った操作手順を示します。

最後の曲から取り消していくとき(PGMモード停止中のみ)

マルチキーCLEARを押して、プログラム最後の曲から1曲ずつ取り消す



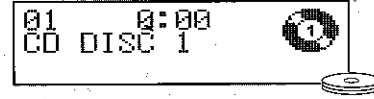
プログラム番号が減っていきます

CLEAR/DELETEキーを押してプログラムの最後の曲から1曲ずつ取り消す

全ての曲を取り消すとき(PGMモード再生、停止中)

1 menuキーを押す

2 マルチキーP.MODEを押す



●"PGM"が消灯します。

P.MODE/CHARAC.キーを押して"PGM"を消灯させる

曲の途中で次の曲に移る

マルチキー▶/IIを押す

P.CALL▶/IIキーを押す

●マルチキー◀を1回押すと、再生中の曲のはじめに戻ります。

◀◀P.CALLキーを押して再生中の曲のはじめに戻る

曲を追加する(PGMモード停止中、リモコンのみ)

1 CDプログラムのとき
DISC SELキーを押してディスクを選ぶ

MDプログラムのとき
手順2からはじめる

2 +10、+100、テンキーを押して曲を選ぶ

●"PGM FULL"が表示されるとそれ以上プログラムを続けられません。

3 P.MODE/CHARAC.キーを押して、選んだ曲を確定する

●追加したい曲番号を運ぶとプログラムの最後に追加されます。

4 手順1～3(MDの場合は2と3)を繰り返してプログラムを続ける

プログラムした曲の内容を確認する

(PGMモード停止中のみ)

プログラム終了後、マルチキーCHECKを押す
●押すたびに1曲目から順にプログラムされた曲が表示されます。

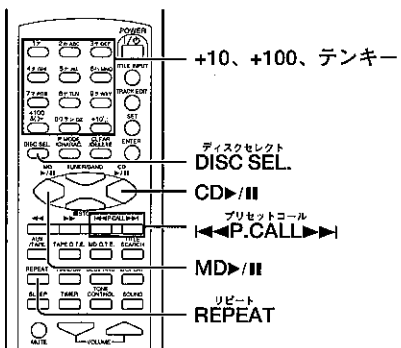
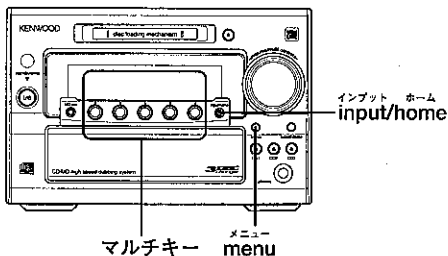
PGMモードを解除する

●上記"プログラムした曲を取り消す"の"全ての曲を取り消す"の手順でPGMモード再生を解除することができます。

- 本機でのCDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
- BEST HITSプログラム再生中に上記"曲を追加する"の手順を行うと、BEST HITSプログラムが解除されます。
- 電源をオフにすると、設定したPGMモード再生は解除されます。
- ディスクを取り出すと、設定したプログラムの中から、取り出したディスクにあった曲だけが削除されます。

繰り返し聴く (REP.モード再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。"好きな1曲"、"好きな1枚"、"全てのディスク"(CDの場合のみ)の3種類のリピート再生ができます。



あらかじめソースをCDまたはMDにしてください



- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー-MENUを押します。
- メニューモードを解除するには、input/homeキーを押します。

リモコンを使った手順を示します。

1曲を繰り返し聴く

1 再生または停止中にmenuキーを押す

2 マルチキー-REP.を押す

3 マルチキー-ONEを押す

1 REPEATキーを繰り返し押しして"ONE REP."を点灯させる

- "ONE REP."が点灯します。

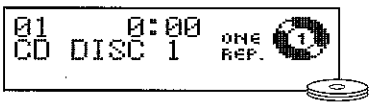
4 マルチキー-1-3 PLAY(DISC1-3)(CDの場合のみ)あるいはマルチキー▶/||を押して再生をはじめる

2 DISC SEL.を押してディスクを選ぶ(CDの場合のみ)

- : CD再生時の表示内容を示します。
- : MD再生時の表示内容を示します。

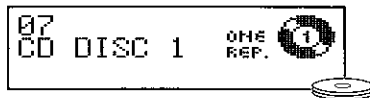


"ONE TRACK REPEAT"がスクロール表示されます。



5 マルチキー◀◀または▶▶を押して繰り返し聴きたい曲を選ぶ

3 +10, +100, テンキーまたは◀◀P.CALL▶▶キーを押して曲を選ぶ



1枚のディスクを繰り返し聴く

1 再生または停止中にmenuキーを押す

2 マルチキー-REP.を押す

3 CDのとき マルチキー-DISCを押す

MDのとき マルチキー-ALLを押す

1 REPEATキーを繰り返し押しして"DISC REP." (MDの場合は"ALL REP.")を点灯させる

- "DISC REP." (MDの場合は"ALL REP.")が点灯します。



"DISC REPEAT"がスクロール表示されます。

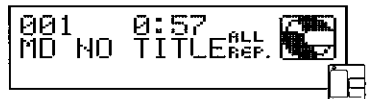
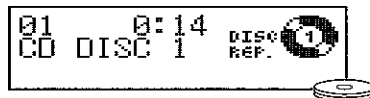


"ALL REPEAT"がスクロール表示されます。

4 マルチキー-1-3 PLAY(DISC1-3)(CDの場合のみ)あるいはマルチキー▶/||を押してREP.モード再生をはじめる

2 DISC SEL.を押してディスクを選ぶ(CDの場合のみ)

3 CD▶/||キー(MD▶/||キー)を押してREP.モード再生をはじめる



はリモコンを使った操作手順を示します。

全てのディスクを繰り返し聴く (CDの場合のみ)

- 1 CDの再生または停止中に^{メニュー}menuキーを押す
- 2 マルチキー^{リピート}REP.を押す
- 3 マルチキー^{オール}ALLを押す

1 REPEATキーを繰り返し押しして"ALL REP."を点灯させる

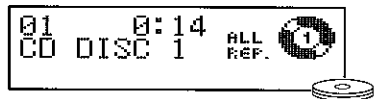
- "ALL REP."が点灯します。

- 4 マルチキー1-3^{プレイ ディスク}PLAY (DISC1-3)あるいはマルチキー▶/IIを押して再生をはじめる

- 2 DISC SELを押してディスクを選ぶ
- 3 CD▶/IIキー(MD▶/IIキー)を押してREP.モード再生をはじめる



"ALL REPEAT"がスクロール表示されます。



曲の途中で次の曲に移る

マルチキー▶/IIを押す

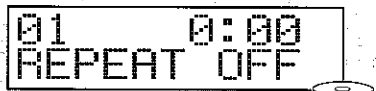
P.CALL▶/IIキーを押す

- マルチキー◀/◀を1回押すと、再生中の曲のはじめに戻ります。

◀/◀P.CALLキーを押して再生中の曲のはじめに戻る

リピート REP.モードを解除する

- 1 REP.モード再生、停止中に^{メニュー}menuキーを押す
- 2 マルチキー^{リピート}REP.を押す

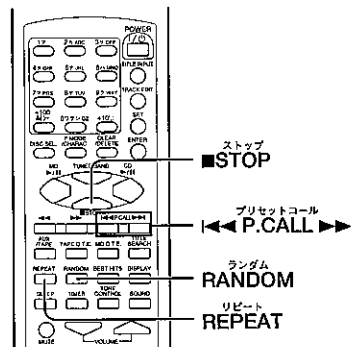
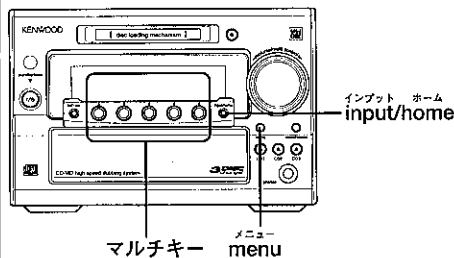


"REPEAT OFF"がスクロール表示されます。

REPEATキーを繰り返し押しして"ONE REP." "REP." "ALL REP."を消灯させる

ランダム再生を楽しむ (RANDOMモード再生)

CDやMDがランダム(無作為)な曲順で再生されるので、1枚(CDの場合は3枚まで)のディスクを飽きることなく楽しむことができます。"1枚のディスク" "全てのディスク"(CDの場合のみ)の2種類のRANDOMモード再生ができます。



- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー^{メニュー}MENUを押します。
- メニューモードを解除するには、input/homeキーを押します。

あらかじめソースをCDまたはMDにしてください -18- -20-

はリモコンを使った操作手順を示します。

1枚のディスクをランダムに再生する

- 1 再生または停止中に^{メニュー}menuキーを押す
- 2 マルチキー^{ランダム}RANDOMを押す
 - MDの場合、この手順で"RANDOM"が点灯しRANDOMモード再生がはじまります。

3 マルチキー^{ディスク}DISCを押す(CDの場合のみ)

RANDOMキーを押して"RANDOM"を点灯させる

- CDの場合、選ばれているディスクからRANDOMモード再生がはじまります。
- 全曲のRANDOMモード再生が1回終わると停止します。
- RANDOMモード再生中にマルチキー^{リピート}REP.(リモコンREPEATキー)を押すと、RANDOMモード再生を繰り返すことができます。

CD再生時の表示内容を示します。



MD再生時の表示内容を示します。



"RANDOM ON"がスクロール表示されます。



"DISC RANDOM"がスクロール表示されます。

● 電源をオフにしたり、ディスクを取り出したりすると、REP.モードは解除されます。

リモコンを使った操作手順を示します。

全てのディスクをランダムに再生する (CDの場合のみ)

- 1 CDの再生または停止中にmenuキーを押す
- 2 マルチキー-RANDOMを押す
- 3 マルチキー-ALLを押す

RANDOMキーを押して"ALL RANDOM"を点灯させる

- 選ばれているディスクから全ディスクRANDOMモード再生がはじまります。
- すべてのディスクの全曲のRANDOMモード再生が1回終わると停止します。
- RANDOMモード再生中にマルチキー-REP. (リモコンREPEATキー)を押すと、RANDOMモード再生を繰り返すことができます。

曲の途中で次の曲に移る

マルチキー-▶を押す

P-CALL▶キーを押す

- マルチキー-◀を1回押すと、再生中の曲のはじめに戻ります。

P-CALLキーを押して再生中の曲のはじめに戻る



"ALL RANDOM"がスクロール表示されます。

RANDOMモードを解除する

- 1 ランダム再生中にmenuキーを押す
- 2 マルチキー-RANDOMを押す



"RANDOM OFF"がスクロール表示されます。

RANDOMキーを繰り返し押して"RANDOM"を消灯させる

- マルチキー-■ (リモコンSTOPキー)を押してもRANDOMモードを解除することができます。

録音のタイプを選ぶ

本機では、通常の録音の他に次のような録音機能があります。

CDの録音をカンタンにしたいときは

ワンタッチエディット録音 (O.T.E.)

全曲倍速録音 (HIGH O.T.E.)

CDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。

全曲録音 (O.T.E.)

CDの全曲を、カンタンな操作でMDに録音することができます。

一曲録音 (O.T.E.)

その時に聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作でMDに録音することができます。(はじめて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。)

曲を選び曲順を並べ替えて録音をしたいときは

プログラム録音 (PGMモード再生+O.T.E.)

プログラム録音

プログラムした曲順で録音します。(CDの曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。)

好きなCDの一曲目だけを再生、録音したいときは

ベストヒットプログラム編集 (BEST HITS)

BEST HITSプログラム再生

本機にセットされたCDの、各々最初の1曲目だけを自動的にプログラムして再生します。(あるCDを再生中に他のCDの取り替えができるため、シングルCDなどのヒット曲を続けて再生するときに便利です。)

BEST HITSプログラム録音

ベストヒットプログラムで再生された曲を録音します。(お気に入りのオリジナルヒット曲集を作るときに便利です。)

- CDとMDを組み合わせたRANDOMモード再生はできません。
- 電源をオフにしたり、ディスクを取り出したりすると、RANDOMモードは解除されます。

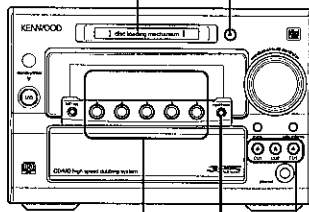
- ミニディスクに録音した後は、▲キーを押して必ずディスクを取り出してください。取り出すときに録音情報がミニディスクに書き込まれます。

CDの全曲、1曲をワンタッチで録音する

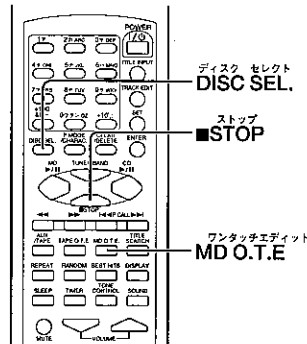
(ワンタッチエディット録音) (O.T.E.)

CDからMDにワンタッチ操作でカンタンに録音することができます。

ミニディスク挿入口



マルチキー
input/home
▲CD1-3



- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー-RETURNを押します。
- 録音モードを解除するには、input/homeキーを押します。

CDの全曲をワンタッチで倍速録音する

(HIGH O.T.E.) (本体のみ)

- 1 録音可能なミニディスクをミニディスク挿入口に入れる -28-26
- 2 ▲CD1-3キーを押してCDトレイにディスクを入れる -18
- 3 CD停止状態にする -18

他のソースを選んでいるとき

input/homeキーを押した後マルチキー-CDを押す

ディスクをセットした後、ソース選択キーになっている間

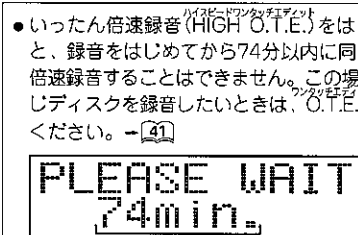
マルチキー-CDを押す

- 4 マルチキー-REC MODEを押す
- 5 マルチキー-DISC 1-3を押してディスクを選ぶ
- 6 マルチキー-HIGH O.T.E.を押す

- 選んだCDの1曲目から倍速録音が始まり、全曲を録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- CD倍速再生またはMD倍速録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

- 7 倍速録音終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- "MD WRITING"表示中に録音情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。



同じディスクの倍速録音ができるようになるまでの時間

- 手順6でマルチキー-HIGH O.T.E.を押した後、実際の録音が始まるまで数秒間"RECII"が表示されます。この間にマルチキー-■を押して倍速録音を中止した場合は、74分経過しなくても同じディスクを倍速録音することができます。

はリモコンを使った操作手順を示します。

CDの全曲をワンタッチで録音する (O.T.E.)

- 1 録音可能なミニディスクをミニディスク挿入口に入れる -28-26
- 2 ▲CD1-3キーを押してCDトレイにディスクを入れる -18
- 3 CD停止状態にする

他のソースを選んでいるとき

input/homeキーを押した後マルチキー-CDを押す

ディスクをセットした後、ソース選択キーになっている間

マルチキー-CDを押す

- 4 マルチキー-REC MODEを押す
- 5 マルチキー-DISC 1-3を押してディスクを選ぶ

1 上記の本体手順①~③を済ませた後、DISC SEL.キーを繰り返し押してディスクを選ぶ

- 6 マルチキー-O.T.E.を押す

2 MD O.T.E.キーを押して録音をはじめます

● 録音終了後、下記の本体手順⑦も行ってください。

- 選んだCDの1曲目から録音が始まり、全曲を録音します。
- CD再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

- 7 録音終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- "MD WRITING"表示中に録音情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

録音を途中でやめる

マルチキー-■を押す

- 録音と再生が共に終了します。

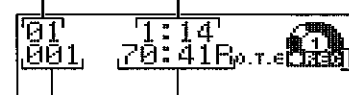
● STOPキーを押す

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。



- PGMモードまたはBEST HITSプログラムと組み合わせて、ワンタッチエディット録音をすることができます。-22-24

CDディスク番号 CD再生経過時間 録音表示



MDトラック番号 MD録音可能総残り時間

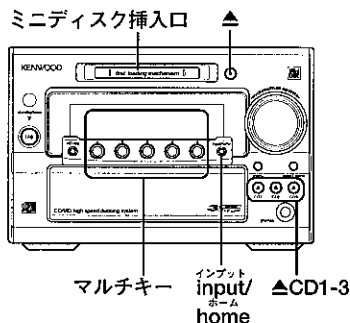
CDで再生中の一曲だけをワンタッチで録音する (一曲O.T.E.) (リモコンのみ)

録音したい曲を再生中にリモコンのMD O.T.E.キーを押す

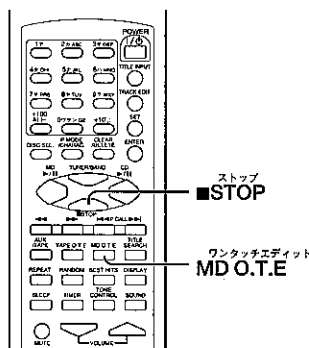
- 曲の途中でMD O.T.E.キーを押しても、その曲のはじめから再生と録音が始まります。
- 録音が終了するとCDは一時停止状態になります。

曲順を並べ替えて録音する (PGMモード再生+O.T.E.) (プログラム録音)

3枚のCDの中から曲順を並べ替えてプログラムしたものを1枚のMDに録音することができます。



プログラム ワンタッチエディット



ばりリモコンを使った操作手順を示します。

- 1 録音可能なミニディスクをミニディスク挿入口に入れる - [28]-[26]
- 2 ▲CD1-3キーを押してCDトレイにディスクを入れる - [18]
- 3 CD停止状態にする - [18]

他のソースを選んでいるとき

input/homeキーを押した後マルチキーCDを押す

ディスクをセットした後、ソース選択キーになっている間

マルチキーCDを押す

- 4 "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順①~④で録音する曲をプログラムをする - [31]
- 5 マルチキーO.T.E.キーを押す

上記の本体手順④を済ませた後、MD O.T.E.キーを押して録音をはじめる

- 録音終了後、下記の本体手順⑥も行ってください。
- プログラムの1曲目から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- CDプログラム再生が終わると自動的に録音が停止します。

- 6 録音終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す
- "MD WRITING"表示中に録音情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。



- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーRETURNを押します。input/home
- メニューモードを解除するには、input/homeキーを押します。

録音を途中でやめる

マルチキー■を押す

- 録音と再生が共に終了します。

STOPキーを押す

プログラム PGMモード再生を解除する

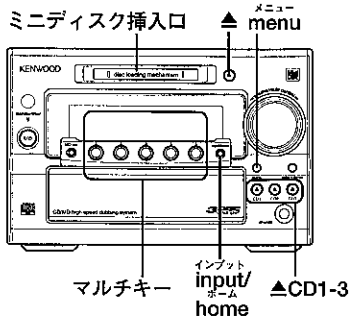
- [33]

- プログラムに従って、再生するCDを本機が自動的に交換している間は、録音も自動的に一時停止になるため不要な(無音声部分の)録音はされません。
- MDの録音可能時間を超えてプログラムされた曲は録音されません。
- REP.モード再生と組み合わせてO.T.E.録音することはできません。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

複数のCDの1曲目だけを再生、録音する (BEST HITSプログラム機能)

セットされている全てのCDの1曲目を、トレイ1から順に再生、録音します。
シングルCDなどのヒット曲(1曲目)を録音するときに便利です。
録音中でも、すでに録音が終わったCDの入れ替えができます。



プログラム
あらかじめPGMモードは解除してください
- [33]

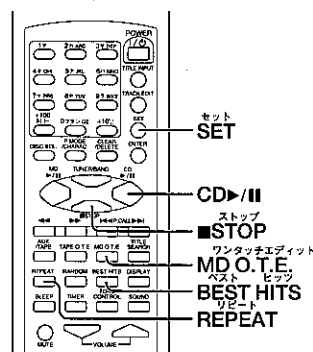
はリモコンを使った操作手順を示します。

複数のCDの1曲目だけを再生する (BEST HITSプログラム再生)

- 1 ▲CD1-3キーを押してCDトレイにディスクを入れる - [18]
- 2 CD停止状態にする - [18]
 - 他のソースを選んでいるとき
 - input/homeキーを押した後マルチキー-CDを押す
 - ディスクをセットした後、ソース選択キーになっている間
 - マルチキー-CDを押す
- 3 menuキーを押す
 - CD停止中のみ、BEST HITSプログラム再生をはじめることができます。
- 4 マルチキー-BEST HITSを押す

1 上記の本体手順 [18] を済ませた後、BEST HITSキーを押す
● "BSET HITS PGM" がスクロール表示されます。

ベスト ヒッツ



- マルチキーのキー配列をひとつ前の手順に戻すには、マルチキー-RETURNを押します。
- メニューモードを解除するには、input/homeキーを押します。

順にディスクを入れ替えていくと、入れ替えた順番で中断することなく再生、録音を続けることができます。

表示の切り換えについて
CD、TEXT対応ディスクを再生する場合、BEST HITSプログラム再生中にリモコンSETキーを押すと、押すたびに以下の項目が切り換わります。
- 01 KENWOOD トラック番号とタイトル
- HITS 1>2>3 再生中のディスク番号が点滅

複数のCDの1曲目だけを録音する (BEST HITSプログラム録音)

- 1 録音可能なミニディスクをミニディスク挿入口に入れる - [28] - [76]
- 2 ▲CD1-3キーを押してCDトレイにディスクを入れる - [18]
- 3 CD停止状態にする
 - 他のソースを選んでいるとき
 - input/homeキーを押した後マルチキー-CDを押す
 - ディスクをセットした後、ソース選択キーになっている間
 - マルチキー-CDを押す
- 4 menuキーを押す
- 5 マルチキー-BEST HITSを押す

1 上記の本体手順 [18] を済ませた後、BEST HITSキーを押す
● "BSET HITS PGM" がスクロール表示されます。

- 6 マルチキー-O.T.E.を押す
 - MD O.T.E.キーを押して録音をはじめます。
 - 録音終了後、下記の本体手順 [28] も行ってください。
 - 再生中のディスク番号が点滅します。
 - BEST HITSプログラム再生またはMD録音のどちらかが終了すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 7 録音終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す
 - "MD WRITING"表示中に録音情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

BEST HITSプログラム再生、録音を途中でやめる

マルチキー-STOPを押す
STOPキーを押す

BEST HITSプログラム機能を解除する

- 1 BEST HITSプログラムモード中にmenuキーを押す
- 2 マルチキー-BEST HITSを押す
 - BEST HITSプログラムモード中にBEST HITSキーを押す
 - 通常の再生に戻ります。
 - BEST HITSプログラムモードで録音中のときは、いったん録音を停止してから上記手順でBEST HITSプログラム機能を解除します。

表示の切り換えについて
BEST HITSプログラム録音中、マルチキー-CHECK (リモコンSETキー)を押すたびに以下の項目が切り換わります。
- 010 54:00R トラック番号とミニディスク全体の録音可能時間
- HITS 1>2>3 再生中のディスク番号が点滅

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

BEST HITSプログラムに従って、再生するCDを本機が自動的に交換している間は、録音も自動的に一時停止になるため不要な(無音声部分の)録音はされません。
● MDの録音可能時間を超えてBEST HITSプログラムされた曲は録音されません。
● REP.モード再生と組み合わせてBEST HITSプログラム録音することはできません。

応用編

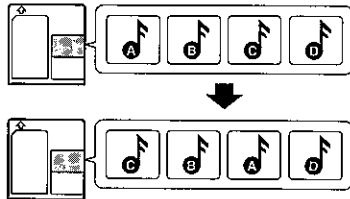
編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。

編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つまみを「録音可能」側にしてください。 - [76]

曲順の入れ替え

曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE) - [47]
曲順を1曲ずつ入れ替える (MOVE) - [49]

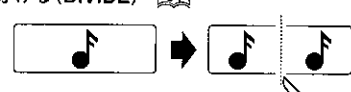


MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、確認ください。 - [79] - [80]

曲の分割と結合

曲を分ける (DIVIDE) - [51]

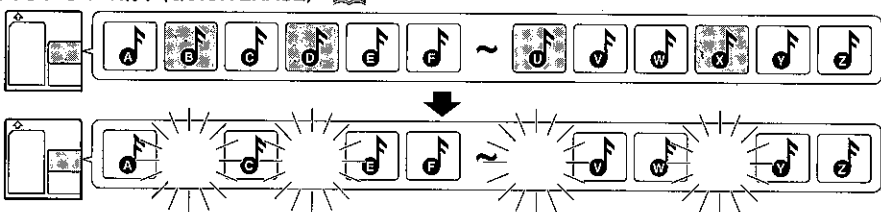


曲をつなぐ (COMBINE) - [53]

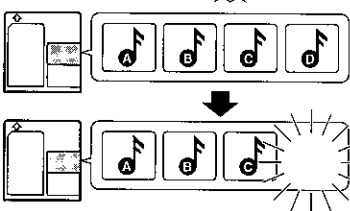


曲の消去

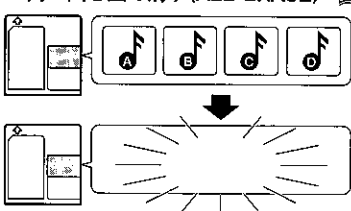
曲をまとめて消す (QUICK ERASE) - [55]



1曲ずつ消す (ERASE) - [57]



MD内の曲を全て消す (ALL ERASE) - [58]



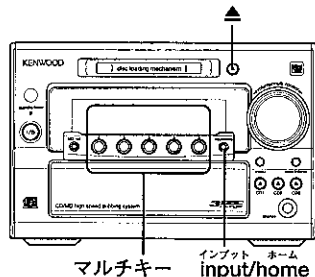
ミニディスクや曲にタイトルをつける (リモコンのみ) - [59]
タイトルをコピーまたはメモして、他のミニディスクや曲につける (TITLE COPY) (TITLE MEMO) (リモコンのみ) - [64]

英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。表示部に表示される文字の中から順に選ぶだけのカンタンな操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性があるので、他のMDレコーダー(プレーヤー)にそのミニディスクをセットしたときも表示されます。(タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります)

編集した内容を取り消す (EDIT CANCEL) - [66]

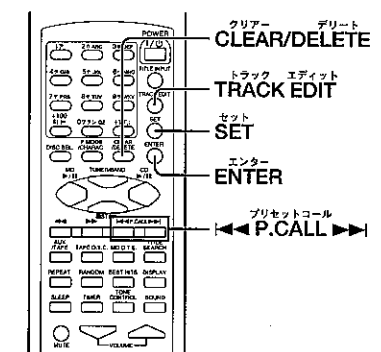
曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE)

並べたい順に曲(トラック番号)を選び出し、ひとまとめにして曲順を入れ替えることができます。入れ替えが終了と、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調節されます。



1回の編集で入れ替えられるのは、32曲までです。

リモコンを使った操作手順を示します。

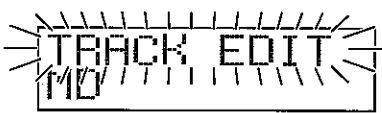


- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー RETURN を押します。
- MD編集を途中で終了したいときは、input/home キーまたはリモコンの TRACK EDIT キーを押します。

1 MD停止中にマルチキー TRACK EDIT を押す

1 TRACK EDIT キーを押す

- 手順2に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度 TRACK EDIT キーを押します。
- MD編集モードになります。



2 マルチキー QUICK MOVE を押す

2 P.CALL キーを繰り返し押して「Q. MOVE」を選ぶ

3 SET キーを押して「Q. MOVE」を確定する



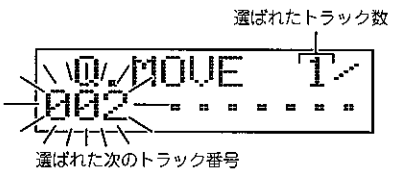
3 マルチキー << または >> を押して入れ替えたい曲(トラック番号)を選ぶ

4 P.CALL キーを押して曲を選ぶ

4 マルチキー SET を押して選んだ曲を確定する

5 SET キーを押して曲を確定する

- 選んだ曲は取り消すことができます。 - [49]



5 手順3, 4 を繰り返して、並べたい順に曲を選び出す

6 手順4, 5 を繰り返して、並べたい順に曲を選び出す

次のページにつづく

6 マルチキー-ENTERを押す

7 ENTERキーを押す

7 マルチキー-◀または▶を押して選出した曲の移動先を選ぶ

8 ◀P.CALL▶キーを押して移動先を選ぶ

- 移動先は、選ばれた曲の直前、直後一組のトラック番号で表示され、キーを押すたびに前後します。

8 マルチキー-SETを押して曲数を確認する

9 SETキーを押して曲数を確認する

9 マルチキー-ENTERを押して入れ替えを確定する

10 ENTERキーを押して入れ替えを確定する

- 編集終了後、下記の本体手順④も行ってください。
- "EDIT NOW!"表示中に▲キーや、I/Oキーを押すと、編集が中断されることがあります。

10 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- "MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

選んだ曲を取り消す

- 手順④の前に、リモコンのCLEAR/DELETEキーを押します。押すたびに選んだ曲の最後から順に取り消します。



選んだ曲の数

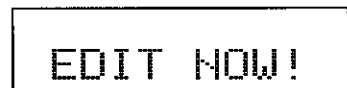
選出した曲をMDの先頭に移動する場合



選んだ曲の直前になるトラック番号 選んだ曲の数 選んだ曲の直後になるトラック番号



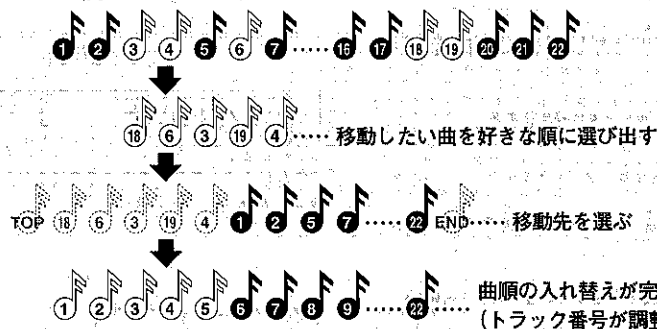
移動する曲の数



"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

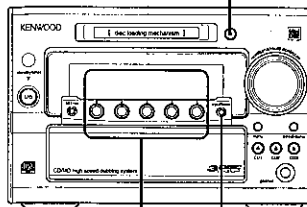
ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 -66

曲順をまとめて入れ替えるイメージ



曲順を1曲ずつ入れ替える (MOVE)

再生中の曲を、お好みの位置へ移動(挿入)することができます。入れ替えが終了と、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。MOVEを繰り返し行くと、全曲をお好みの曲順に並べ替えることができます。



マルチキー input/home ホーム

はリモコンを使った操作手順を示します。

1 移動したい曲の再生または一時停止中にマルチキー-TRACK EDITを押す

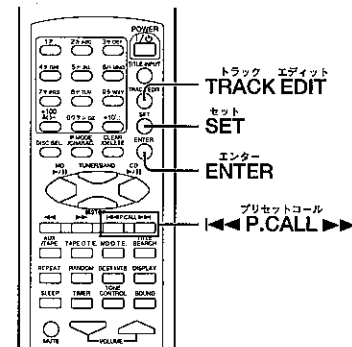
1 TRACK EDITキーを押す
●手順2に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度TRACK EDITキーを押します。
●MD編集モードになります。

2 マルチキー-MOVEを押す

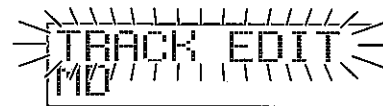
2 ◀P.CALL▶キーを繰り返し押して"MOVE"を選ぶ
3 SETキーを押して"MOVE"を確定する

3 マルチキー-◀または▶を押して曲の移動先を選ぶ

4 ◀P.CALL▶キーを押して移動先を選ぶ
●移動先は、選ばれた曲の直前、直後一組のトラック番号で表示され、キーを押すたびに前後します。



- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー-RETURNを押します。
- MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。



曲をMDの最後に移動する場合



曲の直前になるトラック番号 移動する曲の数 (常に"1"になります) 曲の直後になるトラック番号

4 マルチキー^{セット}SETを押して移動を確認する

5 SETキーを押して移動を確認する

5 マルチキー^{エンター}ENTERを押して移動先を確定する

6 ENTERキーを押して移動先を確定する

●編集終了後、下記の本体手順④も行ってください。

●移動が済んだ後は、その移動した曲のはじめで一時停止になります。

●"EDIT NOW!"表示中に▲キーや、I/Oキーを押すと、編集が中断されることがあります。

6 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

●"MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

MOVE
MOVE OK

EDIT NOW!

COMPLETE!!

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。



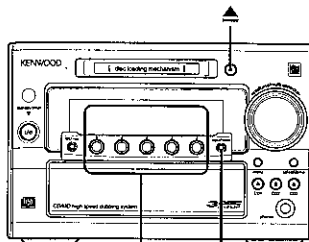
ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 -66-

曲順を1曲ずつ入れ替えるイメージ



曲を分ける (DIVIDE)

曲の途中に曲番号(トラック番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。



マルチキー input/home

はリモコンを使った操作手順を示します。

1 曲の再生中、分割したいところ(分割ポイント)でマルチキー^{トラック編集}TRACK EDITを押す

1 TRACK EDITキーを押す

●手順2に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度TRACK EDITキーを押します。

●MD編集モードで一時停止になります。

2 マルチキー^{ディバイド}DIVIDEを押す

2 ◀▶ P. CALL ▶▶キーを繰り返し押しして"DIVIDE"を選ぶ

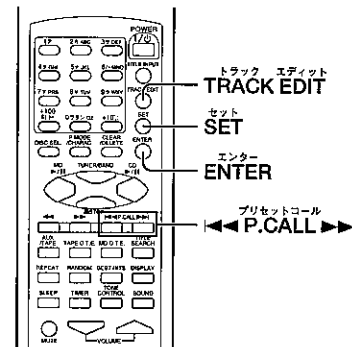
3 SETキーを押して"DIVIDE"を確定する

プレビュー再生で分割ポイントの微調整をしないときは、手順④の後にマルチキー^{エンター}ENTER(リモコンENTERキー)を押してから手順⑤へ進みます。

3 マルチキー^{セット}SETを押してプレビュー再生をはじめ

4 SETキーを押してプレビュー再生をはじめ

●一時停止したところから後に続く約3秒間を繰り返し再生します。



●マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー^{リターン}RETURNを押します。

●MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。

TRACK EDIT

●曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割することはできません。

●分割した曲の最後と新しくできた曲の最初(分割ポイントの前後)には無音声部分ができません。

DIVIDE
002 <> 003

一時停止中のトラック番号 分割のできる新しいトラック番号

次のページにつづく

4 プレビュー再生を聴きながら、マルチキー◀◀または▶▶を押して分割ポイントを微調整する

5 ◀◀P.CALL▶▶キーを押して分割ポイントを選ぶ

- キーを押すたびに分割ポイントが1ステップ(6/100秒)づつ前後します。(31~+31ステップの範囲で微調整ができます。)

5 マルチキーSETを押して分割ポイントを確定する

6 SETキーを押して分割ポイントを確定する

6 マルチキーENTERを押して分割を確定する

7 ENTERキーを押して分割を確定します。

- 編集終了後、下記の本体手順⑦も行ってください。
- 分割して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。
- "EDIT NOW!"表示中に▲キーや、I/Oキーを押すと、並べ替えが中断されることがあります。

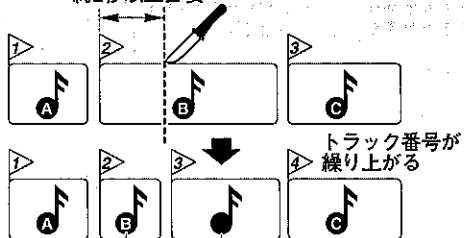
手順⑦~⑨を繰り返し、最大255箇所まで曲を分割することができます。

7 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- "MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

曲を分割するイメージ

約2秒以上必要



分割された曲(後半)

分割された曲(前半)

分割ポイントが移動するステップ数



分割ポイントからの再生経過時間(秒)



"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。



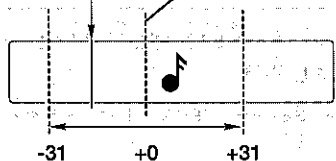
ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。

- 66

プレビュー再生のイメージ

分割ポイントの微調整で選んだところ

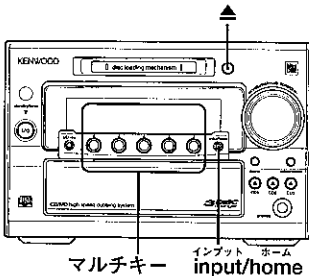
3秒再生 EDITキーを押したところ



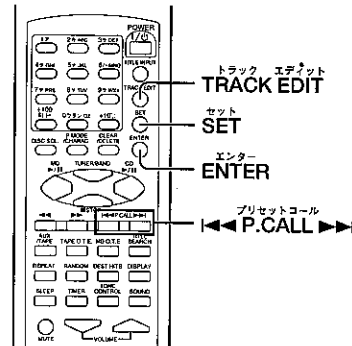
微調整範囲

曲をつなぐ (COMBINE)

2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。曲をつなぎ終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。



マルチキー input/home



- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーRETURNを押します。
- MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。

はリモコンを使った操作手順を示します。

1 つなげたときに前になる曲を再生中に、マルチキーTRACK EDITを押す

- 1 TRACK EDITキーを押す
 - 手順2に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度TRACK EDITキーを押します。
 - MD編集モードで一時停止になります。

2 マルチキーCOMBINEを押す

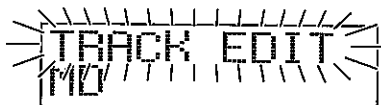
- 2 ◀◀P.CALL▶▶キーを繰り返し押して"COMBINE"を選ぶ
- 3 SETキーを押して"COMBINE"を確定する

3 マルチキー◀◀または▶▶を押して、つなげたときに後ろになる曲(トラック番号)を選ぶ

- 4 ◀◀P.CALL▶▶キーを押して曲を選ぶ

4 マルチキーSETを押して、つなげたときに後ろになる曲を確定する

- 5 SETキーを押して曲を確定する



4曲目と1曲目をつなぐ場合の例

つなげたときに前になるトラック番号

つなげたときに後ろになるトラック番号

次のページにつづく

5 マルチキー^{ENTER}を押して結合を確定する

6 ENTERキーを押して結合を確定する

●編集終了後、下記の本体手順④も行ってください。

- 結合して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。
- "EDIT NOW!"表示中に▲キーや、1/0キーを押すと、編集が中断されることがあります。

6 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- "MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

EDIT NOW!

COMPLETE!!

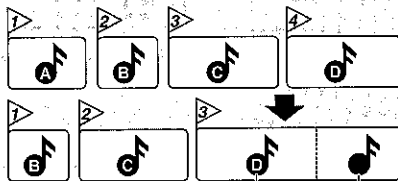
"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態に戻すことができます。 →(66)

曲をつなぐイメージ

4曲目と1曲目をつなぐ場合



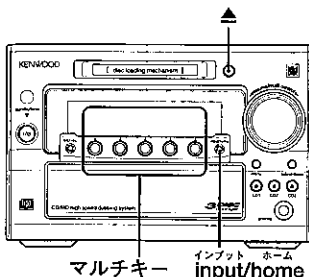
トラック番号が調整される

前半部のトラック番号と 後半部のトラック番号と
タイトルが残る タイトルは消える



曲をまとめて消す (QUICK ERASE) ^{クイック イレース}

曲(トラック番号)を選び出し、まとめて消去することができます。曲を消し終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。



1回の編集で消去できるのは、32曲までです。

リモコンを使った操作手順を示します。

1 MD停止中にマルチキー^{TRACK EDIT}を押す

1 TRACK EDITキーを押す

- 手順2に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度TRACK EDITキーを押します。
- MD編集モードになります。

2 マルチキー^{QUICK ERASE}を押す

- 2 P.CALLキーを繰り返し押して"Q. ERASE"を選ぶ
- 3 SETキーを押して"Q. ERASE"を確定する

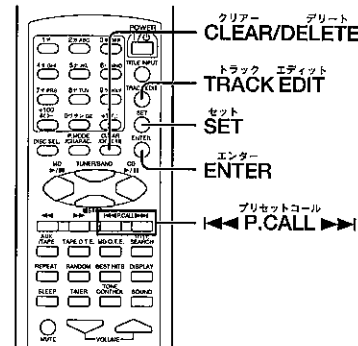
3 マルチキー◀または▶を押して消したい曲(トラック番号)を選ぶ

4 P.CALLキーを押して曲を選ぶ

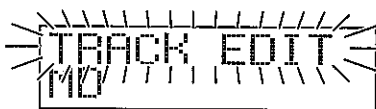
4 マルチキー^{SET}を押して選んだ曲を確定する

5 SETキーを押して曲を確定する

- 選んだ曲は取り消すことができます。 →(66)



- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー^{RETURN}を押します。
- MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。



選ばれたトラック番号 トラックタイトル



選ばれた曲の数

次のページにつづく

5 手順3、4を繰り返して、消したい曲を選び出す

6 手順4、5を繰り返して、消したい曲を選び出す

6 マルチキーENTERを押して、消したい曲を確定する

7 ENTERキーを押して、消したい曲を確定する

7 マルチキーENTERを押して、消去を確定する

8 ENTERキーを押して消去を確定する
 ●編集終了後、下記の本手順も行ってください。

●"EDIT NOW!"表示中に▲キーや、I/Oキーを押すと、編集が中断されることがあります。

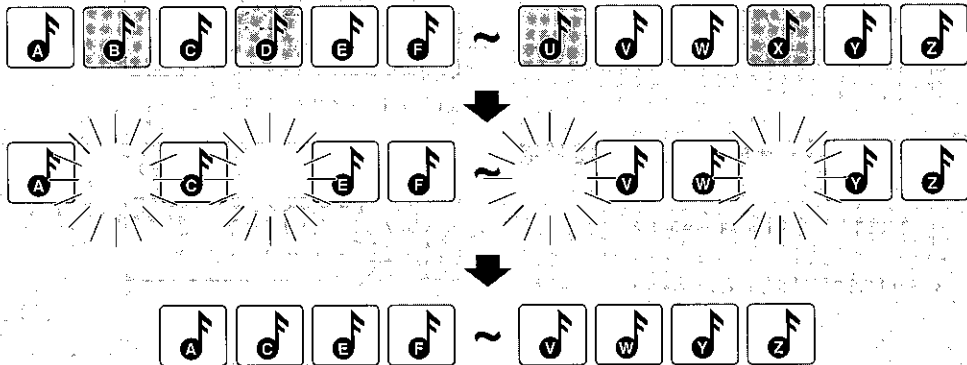
8 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

●"MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

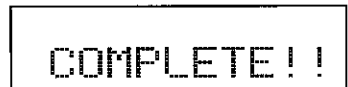
選んだ曲を取り消す

●手順4の前に、リモコンのCLEAR/DELETEキーを押します。押すたびに選び出した曲の最後から順に取り消します。

曲をまとめて消すイメージ



消去するトラック数



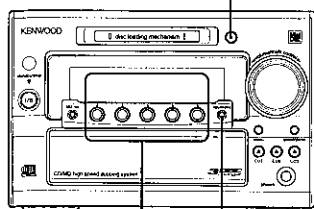
"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 -66-

1曲ずつ消す (ERASE)

選んだ1曲のみを消去することができます。消し終ると、その曲以降のトラック番号が1つずつ繰り上がります。



マルチキー input/home

はリモコンを使った操作手順を示します。

1 消したい曲の再生または一時停止中にマルチキーTRACK EDITを押す

1 TRACK EDITキーを押す
 ●手順2に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度TRACK EDITキーを押します。
 ●MD編集モードで一時停止になります。

2 マルチキーERASEを押す

2 <<<P.CALL>>>キーを繰り返し押しして"ERASE"を選ぶ

3 マルチキーSETを押して"ERASE"を確定する

3 SETキーを押して"ERASE"を確定する

4 マルチキーENTERを押して消したい曲を確定する

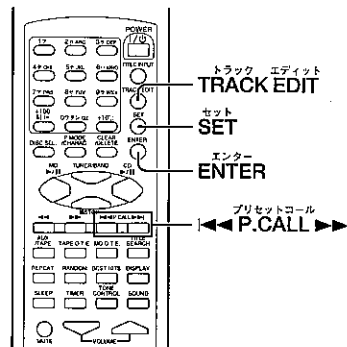
4 ENTERキーを押して曲を確定する

5 マルチキーENTERを押して消去を確定する

5 ENTERキーを押して消去を確定する
 ●編集終了後、下記の本手順も行ってください。
 ●消去した次の曲のはじめで一時停止になります。
 ●"EDIT NOW!"表示中に▲キーや、I/Oキーを押すと、編集が中断されることがあります。

6 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

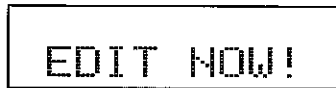
●"MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。



●マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーRETURNを押します。
 ●MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。



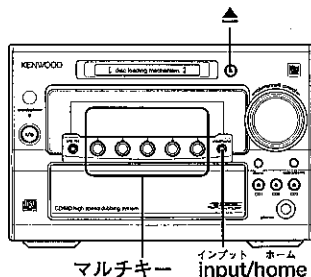
ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 -66-



"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

MD内の曲を全て消す (ALL ERASE)

停止中に全曲消去することができます。



マルチキー input/home

はリモコンを使った操作手順を示します。

1 MD停止中にマルチキー-TRACK EDITを押す

1 TRACK EDITキーを押す

- 手順②に進む前にMD編集モードが自動的に解除されるときは、再使TRACK EDITキーを押します。

- MD編集モードになります。

2 マルチキー-QUICK ERASEを押す

2 <<P.CALL>>キーを繰り返し押しして"Q. ERASE"を選ぶ

3 SETキーを押して"Q. ERASE"を確定する

3 "ALL"表示中に、マルチキー-SETを押して"ALL ERASE"を確定する

4 SETキーを押して"ALL ERASE"を確定する

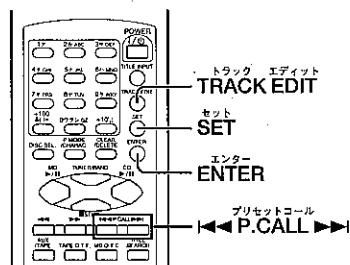
4 マルチキー-ENTERを押して消去する

- 5 ENTERキーを押して消去する
- 編集終了後、下記の本体手順④も行ってください。

- "EDIT NOW!"表示中に▲キーや、I/Oキーを押すと、編集が中断されることがあります。

5 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- "MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

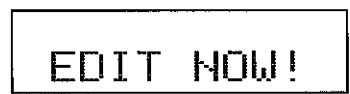


- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー-RETURNを押します。
- MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。

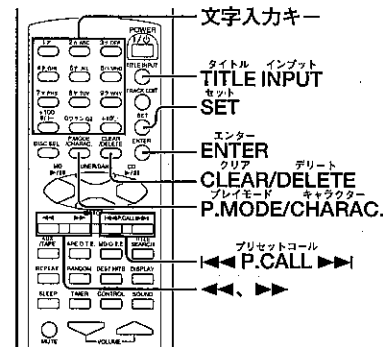
-66-



"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクや曲にタイトルをつける (リモコンのみ)

ミニディスクや曲にタイトル(名まえ)をつけておくと、再生中にタイトルが表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。



1 ソースがMDのとき、TITLE INPUTキーを押す

- ミニディスクのデータ読み出し、書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。

2 <<P.CALL>>キーを繰り返し押しして、編集したいタイトルを選ぶ

- <<P.CALL>>キーを押すたびに編集するタイトルが切り換わります。

- ① "DISC" : (ディスクタイトル)*1
- ② "001", "002"... : (トラックタイトル)*2
- ③ "ALL ERASE" : (ディスクとトラックタイトルの全消去) -66-
- ④ "[123]" : (タイトルメモ)*3 -66-

*1 停止中に手順②を行うと、ディスクタイトルから表示がはじまります。

*2 <<P.CALL>>キーを押すたびに"001", "002"...とトラックタイトルが順番に表示され、全トラックの表示が終わると③、④と続きます。再生中に手順②を行うと、演奏中のトラックから表示がはじまります。

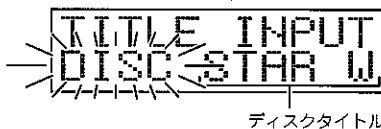
*3 <<P.CALL>>キーを押すたびに選ばれたタイトルメモの数字が点滅し、次に①、②と続きます。

3 SETキーを押して編集したいタイトルを確定する



MD編集を途中で終了したいときは、リモコンのTITLE INPUTキーを押します。

ディスクタイトル(ディスク名)の場合



ディスクタイトル

トラックタイトル(曲名)の場合



トラック番号 トラックタイトル

- ディスク、トラックともにタイトルをつけていないときは、"....."と表示されます。

次のページにつづく

4 タイトルを入力する

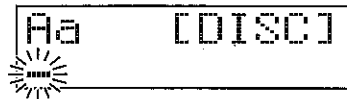
文字の選び方には"文字入力キーモード"と"スキップキーモード"の2通りの方法があります。

文字入力キーで文字を選ぶとき
("文字入力キーモード")

"Aa"、"12"、"アア" いずれかが表示されていないときは文字入力キーのいずれかを押しします。

- ① P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押しして、文字グループを選ぶ

"文字入力キーモードの場合"



"文字入力キーモード"のときの文字グループは以下の通りです。

"Aa" グループ

A~z、記号とタイトルメモ("[1]"、"[2]"、"[3]")

"12" グループ

0~9と記号

"アア" グループ

アイウエオ...ガキクゲゴ...と記号

②

- ② 文字入力キーを押して、文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押しすと文字が変わります。

(例: を押す)

押すたびにA→B→C→a→b→cと変わります。

- ◀▶キーで、入力場所(カーソル)を左右に移動できます。
- 間違えたときは、CLEAR/DELETEキーを押して消去します。



入力される場所(カーソル)



カーソルが移動、次の文字の入力待ち

- ③ SETキーを押して、文字を確定(入力)する
- 他の文字入力キーや▶▶キー、P.MODE/CHARAC.キーなどを押したときも確定されます。

- ④ 手順①~③を繰り返す

プリセットコール
◀◀P.CALL▶▶キーで文字を選ぶとき
("スキップキーモード")

"Aa"、"12"、"アア" いずれかが表示されているときは◀◀P.CALL▶▶キーを押します。

- ① P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押しして、文字グループを選ぶ

- ② ◀◀P.CALL▶▶キーを押して、文字またはタイトルを選ぶ

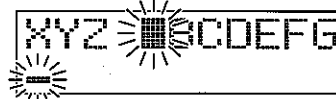
● 表示がスクロールして、同じグループ内のすべての文字を選ぶことができます。

● ◀◀または▶▶キーで、入力場所(カーソル)を左右に移動できます。

- ③ SETキーを押して、文字を確定(入力)する

- ④ 手順①~③を繰り返す

"スキップキーモードの場合"



"スキップキーモード"のときの文字グループは以下の通りです。

アルファベットの大文字グループ

A~Zとスペース(1文字ぶんの空白)

アルファベットの小文字グループ

a~zとスペース

数字、記号グループ

0~9、スペースと記号

カタカナグループ

アイウエオ...ガキクゲゴ...

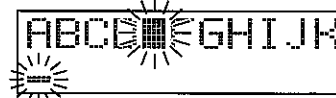
タイトルグループ

②

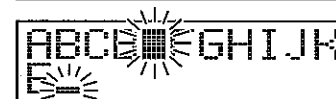
タイトルメモ("[123]")、ディスクタイトルとトラックタイトル

③

選択文字



入力される場所(カーソル)



カーソルが移動、次の文字の入力待ち

タイトルを消去、変更する

- ① ◀◀または▶▶キーを押して、カーソルを目的の(削除または変更する)文字に合わせる

戻る ◀▶ 進む ▶▶



● 文字を削除(手順④)しないで文字の挿入だけをしたときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

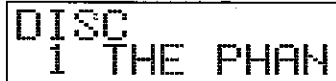
- ② CLEAR/DELETEキーを押して、文字を削除する

- ③ "タイトルを入力する"の手順①~④を行う

次のページにつづく

5 ENTERキーを押して入力したタイトルを確定する

- タイトルをスクロール表示した後に、次のタイトルが選ばれた状態で手順④の表示に戻ります。
- タイトルを確定する前に、電源をオフ(スタンバイ)にしたり、TITLE INPUTキーを押して設定を取り消したりすると入力中の内容は消去されます。



←入力されたタイトルがスクロールします

6 TITLE INPUTキーを押して、編集を終了する

7 編集終了後、本体▲キーを押してミニディスクを取り出す



手順⑤に進む前に手順②~④を繰り返せば、そのミニディスクのすべてのタイトル(ミニディスク名と曲名)をつけることができます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、各種記号などを選ぶことができます。

文字入力キーで文字を入力するとき (文字入力キーモード)

キー	"Aa"グループ	"12"グループ	"7a"グループ
1ア	スペース[1] [2] [3]	1	アイウエオアイウエオ
2カABC	ABCabc または abcABC	2	カキクケコ
3サDEF	DEFdef または defDEF	3	サシスセソ
4タGHI	GHIghi または ghiGHI	4	タチツテトツ
5ナJKL	JKLjkl または jklJKL	5	ナニヌネノ
6ハMNO	MNOmno または mnoMNO	6	ハヒフヘホ
7マPRS	PRSprs または prsPRS	7	マミムメモ
8ヤTUV	TUVtuv または tuvTUV	8	ヤユヨヤユヨ
9ラWXY	WXYwxy または wxyWXY	9	ラリルレロ
0ワランQZ	QZqz または qzQZ	0	ワラン
+10', : , ; , ? , ! , . , _ , \$ スペース			
+100& () -	& () - / + * = < > # % @		

●" " " " "はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。

プリセットコール ◀◀P.CALL▶▶キーで文字を選ぶとき (スキップキーモード)

アルファベットの大文字グループ	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ スペース
アルファベットの小文字グループ	abcdefghijklmnpqrstuvwxyz スペース
数字、記号グループ	0123456789 スペース! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? ` @ スペース _
カタカナグループ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワラン スペースーアイウエオヤユヨヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドパピペボバビブベボ スペースー
タイトルグループ	[1] [2] [3] [DISC] [001] [002]...

●"スキップキーモード"で文字を入力する場合、カタカナやアルファベット文字を入力するのと同じ要領で、タイトルメモや別のディスク/トラックタイトルを入力(コピー)することができます。

タイトルを全て消去する

- ① ソースがMDのとき、TITLE INPUTキーを押す
- ② ◀◀P.CALL▶▶キーを繰り返し押して"ALL ERASE"を選ぶ
- ③ SETキーを押して"ALL ERASE"を確定する
- ④ ENTERキーを押して消去する
 - ディスクタイトル、トラックタイトルとも全て消去されます。
- ⑤ TITLE INPUTキーを押して編集を終了する

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(アルファベット、数字、記号の場合)カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字を削除(CLEAR/DELETEキーを押す)してください。

キー機能について

◀◀または▶▶キー：カーソルの位置を移動します。

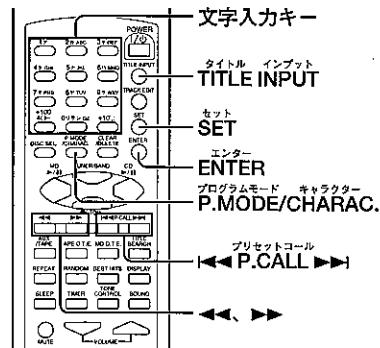
クリア/フリート CLEAR / DELETEキー：カーソルを合わせた文字が消去され、それ以降の文字が1文字づつ前に詰められます。続けて押す(または押したままにして繰り返し消去していく)と、簡単にタイトルを消去できます。

タイトルをコピーまたはメモして、他のミニディスクや曲につける (TITLE COPY) (TITLE MEMO) (リモコンのみ)

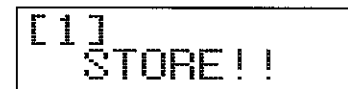
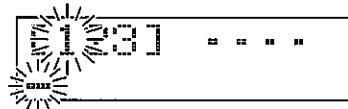
文字入力の手間を省くため、何回も使うようなディスクタイトル(ミニディスク名)、トラックタイトル(曲名)、入力文字をタイトルメモ("[1]"~"[3]")として保存し、別のディスクや、トラックにコピーして使うことができます。3つまでのタイトルや入力文字を保存することができます。

ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする (TITLE COPY)

- 1 MD停止中に、^{タイトル インプット}TITLE INPUTキーを押す
- 2 ^{プリセットコール}◀◀P.CALL▶▶キーを繰り返し押し、保存先のタイトルメモ("[1]"~"[3]")を選ぶ
- 3 ^{セット}SETキーを押して選んだタイトルメモを確定する
- 4 ^{プリセットコール}◀◀P.CALL▶▶キーを押して、"スキップキーモード"にする -[61]
- 5 ^{プレイモード} P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押し、タイトルグループを選ぶ -[61]
- 6 ^{プリセットコール}◀◀P.CALL▶▶キーを押して、コピーするタイトルを選ぶ
- 7 ^{セット}SETキーを押して、コピーするタイトルを確定する
- 8 ^{エンター}ENTERキーを押して、保存先のタイトルメモに保存する
- 9 必要があれば手順②~⑧を繰り返し、別のタイトルメモにコピーを続ける
- 10 ^{タイトル インプット}TITLE INPUTキーを押して、編集を終了する
- 11 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す



MD編集を途中で終了したいときは、リモコンの^{タイトル インプット}TITLE INPUTキーを押します。



タイトルメモに文字を入力する (TITLE MEMO)

- 1 MD停止中に、^{タイトル インプット}TITLE INPUTキーを押す
- 2 ^{プリセットコール}◀◀P.CALL▶▶キーを繰り返し押し、保存先のタイトルメモ("[1]"~"[3]")を選ぶ
- 3 ^{セット}SETキーを押して選んだタイトルメモを確定する
- 4 "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の手順②を行ない文字を入力する -[60]
- 5 ^{エンター}ENTERキーを押して、保存先のタイトルメモに保存する
- 6 文字の入力を続けるときは、手順②~⑤を繰り返し、別のタイトルメモに文字入力続ける
- 7 ^{タイトル インプット}TITLE INPUTキーを押して、編集を終了する
- 8 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す



タイトルメモの内容を他のディスク名、タイトル名にコピーする

"ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする (TITLE COPY)"の手順②で、選ぶ項目(コピー先とコピー元)を反対にすることでこの編集ができます。

下記の手順の操作のみ^{プリセットコール}◀◀P.CALL▶▶で選ぶ項目を変更してください。

- 手順② コピー先としてタイトルメモの代わりにディスクやトラックタイトルを選ぶ
手順⑤ コピーするタイトルメモ("[1]"~"[3]")を選ぶ



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 -[66]

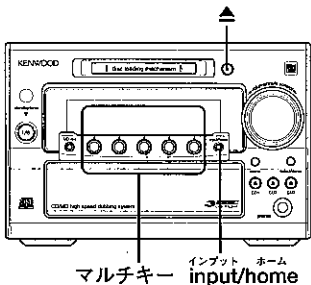
タイトルメモ自体を編集することができます。

- "ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする (TITLE COPY)"の手順②の後に、手順②~⑧を繰り返し、同じタイトルメモに追加のコピーを続けることができます。
- "ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする (TITLE COPY)"の手順②の後に、◀◀または▶▶キーを押してから"ミニディスクや曲にタイトルをつける"の手順②で文字を入力する要領でコピーしたタイトルを編集することができます。

編集した内容を取り消す (EDIT CANCEL)

エディット キャンセル

停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。万一、編集後にミニディスクを取り出したり、他の録音をしたりすると、取り消すことができなくなります。



編集後、ミニディスクを取り出す前に行ってください。

はリモコンを使った操作手順を示します。

1 MD停止中にマルチキー-TRACK EDITを押す

- 1 TRACK EDITキーを押す
 - 手順2に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度TRACK EDITキーを押します。
 - MD編集モードになります。

2 マルチキー-EDIT CANCELを押す

- 2 <<P.CALL>>キーを繰り返し押しして"EDIT CANCEL"を選ぶ
- 3 SETキーを押して"EDIT CANCEL"を確定する

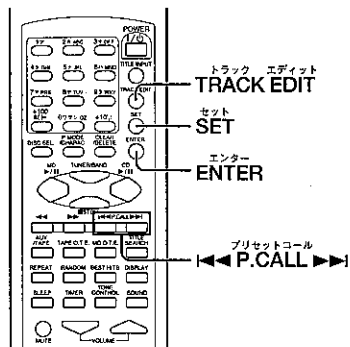
● "EDIT CANCEL"が表示されない場合は、それまで行われた編集を取り消すことができません。

3 マルチキー-ENTERを押して編集を取り消す

- 4 ENTERキーを押して編集を取り消す

4 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

● "CANCEL NOW!"表示中に▲キーやI/Oキーを押すと、編集取消が中断されることがあります。



- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー-**RETURN**を押します。
- MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。

TRACK EDIT MD

EDIT CANCEL CANCEL OK

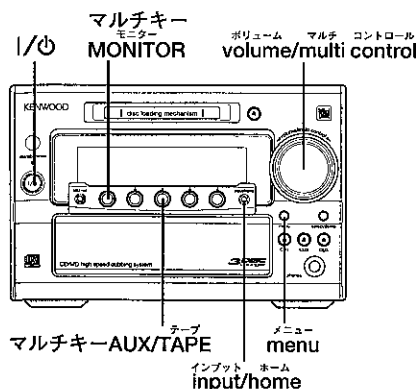
CANCEL NOW!

COMPLETE!!

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

外部ソース機器を聴く

アナログまたは光デジタル出力を備えているCDプレーヤーやMDレコーダーあるいはカセットデッキなどを本機に接続して聴くことができます。



マルチキー-AUX/TAPE input/home

"カセットデッキ(X-SG7)との接続"→**8**または"外部ソース(音源)機器との接続"→**9**を参照して、あらかじめ接続を済ませてください。

はリモコンを使った操作手順を示します。

アナログ接続をした外部ソース機器を聴く

1 電源がオンのとき、input/homeキーを押す

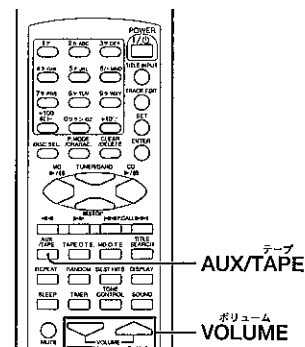
2 マルチキー-AUX/TAPEを押す

- 1 AUX/TAPEキーを押す

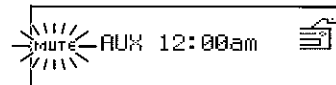
3 外部ソース機器の演奏をはじめ

4 ボリューム volume/multi controlつまみを回して音量を調節する

- 2 VOLUMEキーを押して音量を調節する



- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー-**RETURN**を押します。



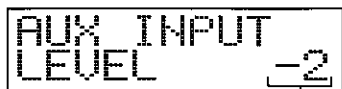
入力(インプット)レベルを調整する

接続したソース機器の音声出力レベルが、本機の入力レベルと合わない(音が大きすぎる、または小さすぎる)場合、調整することができます。

- ① ソースがAUX/TAPEのとき、^{メニュー}menuキーを押す
- ② マルチキー^{レベル}LEVEL▼または^{レベル}LEVEL▲を押してお好みのレベル("5~+2")に調節する
- ③ ^{メニュー}menuキーを押して確定する



- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー^{MENU}MENUを押します。
- メニューモードを解除するには、^{インプット}input/homeキーを押します。



設定レベル



インプットレベルを調整すると、AUX(TAPE)入力端子に接続された外部ソース機器からの録音レベルも変化します。

デジタル接続をした外部ソース機器を聴く(MDのMONITORモード)

デジタルOPTICAL端子に接続した外部ソース機器を聴くときは、ソースをMDにします。

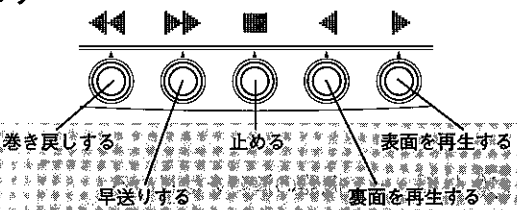
- ① MD停止中に、マルチキー^{モニター}MONITORを押す*
 - * "UNLOCK"と"DIGITAL AUX"が交互に点滅する場合は、"メッセージ表示の一覧"の"UNLOCK"をご覧ください。
- ② 外部ソース機器の演奏をはじめめる
- ③ ^{ボリューム}volume/multi controlつまみを回して音量を調節する



- カセットデッキを接続した場合、お好みでマルチキーの表示を^{TAPE}(AUX)から^{TAPE}(TAPE)に切り換えることができます。ソースがAUX/TAPEのとき^{インプット}input/homeキーを2秒以上押します。元に戻すには、再度^{インプット}input/homeキーを2秒以上押します。
- MDのMONITORモードで外部ソース機器を聴いているとき、MDを出し入れすると音がとぎれます。MONITORモードの音を、本機に接続したカセットデッキに録音しているときは、MDを出し入れしないでください。
- MONITORモードを解除するには、マルチキー^{MD}MDを押します。

表示を^{TAPE}(TAPE)に切り換えたときのマルチキーのキー配列

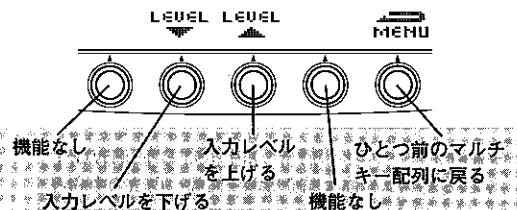
マルチキーの機能



メニューモード

menuキーを押した場合(メニューモード)

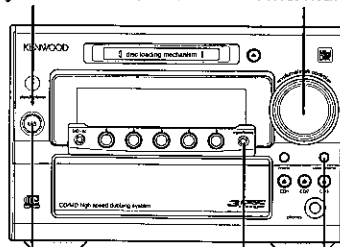
マルチキーの機能



時刻合わせ

時計として使うだけでなく、タイマーを使うためにも必要となるので、あらかじめ時刻合わせを済ませてください。

standby/timer インジケータ volume/multi control

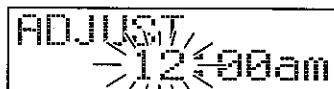


I/O input/home select/demo

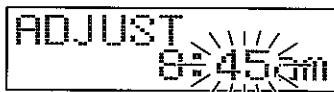
- 1 電源がオンのとき、^{セレクト}select/^{デモ}demoキーを押して諸設定モードにする
- 2 ^{ボリューム}volume/multi controlつまみを回して、"ADJUST?"を選ぶ
- 3 ^{セレクト}select/^{デモ}demoキーを押して"ADJUST"を確定する
- 4 ^{ボリューム}volume/multi controlつまみを回して"時"を合わせる
- 5 ^{セレクト}select/^{デモ}demoキーを押して"時"を確定する
 - "分"表示が点滅します。
- 6 ^{ボリューム}volume/multi controlつまみを回して、"分"を合わせる
- 7 ^{セレクト}select/^{デモ}demoキーを押して"分"を確定する



- 設定の途中で間違えたときは、^{インプット}input/homeキーを押した後、手順②からやり直してください。
- 電源がオフ(スタンバイ)のとき、^{セレクト}select/^{デモ}demoキー(リモコン^{セット}SETキー)を押すと約5秒間時刻を表示します。



午前8時45分に合わせる例



^{ボリューム}volume/multi controlつまみを回す方向は...

時刻が戻る 時刻が進む



- 手順②で、時報と同時に^{セレクト}select/^{デモ}demoキーを押すと正確な時刻設定ができます。
- タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、standby/timerインジケータが緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

CD、MDの再生、ラジオ受信、あるいはそれらの録音
を、指定した時間帯に自動的に行うことができます。
設定後1回だけ働くO.T.T.タイマー、おやすみに設定
すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になるSLEEP
タイマー、設定を保存して毎日働く2つのPROG.タイ
マーがあります。

あらかじめ時刻合わせを済ませてから、タイマー設
定を行ってください。 -69-

簡単にタイマーを設定する (O.T.T.タイマー)

開始時刻をセットするだけの簡単な操作で、タイマー
再生、受信ができます。電源をオフ(スタンバイ)にす
る前に、最後に選ばれていたソースが再生、受信され
ます。タイマー再生開始から1時間が経過すると、電
源が自動的にオフ(スタンバイ)になります。O.T.T.タ
イマーは設定の後1回だけ働きます。

1 設定したいソースを選び、音量を調節
する

2 select/demoキーを押して諸設定モード
にする

- メニューモード中は、menuキーを押してメ
ニューモードを解除してからselect/demoキー
を押します。

3 ボリューム マルチコントロール
volume/multi controlつまみを回して、
"TIMER SET?"を選ぶ

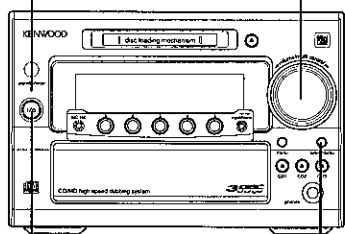
4 "?"が点滅している間にselect/demo
キーを押す

5 ボリューム マルチコントロール
volume/multi controlつまみを回して
"O.T.T. SET?"を選ぶ

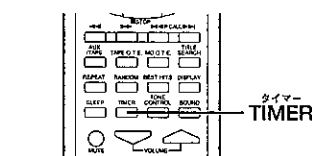
6 select/demoキーを押して"O.T.T. SET?"
を確定する

- 以前に設定したオン時刻が表示されます。(お買
い上げ時は"7:00am")
- 再生するソースを変更したいときは、手順④か
らやり直します。

スタンバイ タイマー
standby/timer
インジケータ



ボリューム マルチコントロール
volume/multi control



タイマー
TIMER

TIMER SET

TIMER SET
O.T.T. SET

7 ボリューム マルチコントロール
volume/multi controlつまみを回して、
再生、受信をはじめたい時刻(オン時刻)
を合わせる

- オン時刻の表示は5分単位で切り換わります。

8 select/demoキーを押してオン時刻を確
定する

9 設定を予約する

- リモコンのTIMERキーを繰り返し押し
て、"O.T.T."を選びます。

10 I/Oキーを押して、電源をオフ(スタン
バイ)にする
●standby/timerインジケータが緑色に点滅し
ます。

タイマー設定が済んだら、電源がオフ(スタンバイ)
になっていることを必ず確認してください。

O.T.T.タイマーを解除するには

電源がオンのとき、リモコンのTIMERキーを繰り返
し押しして、"O.T.T."を消灯させます。

音楽を聴きながら眠る (SLEEPタイマー)(リモコンのみ)

何分後に電源をオフ(スタンバイ)にするか設定します。

CD、MD再生またはラジオ受信中などに、
SLEEPキーを押す

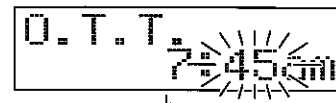
- 設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電
源がオフ(スタンバイ)になります。
- SLEEPキーを1回押すたびに10分単位でタイ
マー時間表示と砂時計表示が変わります。最長
で90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 70 → 80 → 90

→消灯 → 10 → 20

SLEEPタイマーを解除するには

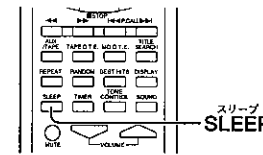
電源をオフ(スタンバイ)にするか、またはSLEEP
キーを繰り返し押ししてタイマー時間と砂時計表示を
消灯させます。



オン時刻の表示

ボリューム マルチコントロール
volume/multi controlつまみを回す方向は・・・

時刻が戻る 時刻が進む



SLEEP



タイマー時間 砂時計表示

本機は、スリープタイマーの動作中に表示部の明る
さが自動的に暗くなるように設定されています。
(オートディマー機能)



●タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたとき
は、standby/timerインジケータが緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

毎日働くタイマーを設定する (PROGRAM TIMER)

PROGRAM
PROGRAM
PROG.1、PROG.2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、オン、オフを切り換えることができます。

タイマー再生、受信

設定した時間帯に選んだソースを再生、受信します。

AI タイマー再生、受信

設定した時間帯にタイマー再生、受信をします。オン時刻になると徐々に音量が大きくなり、設定した音量まで上がります。

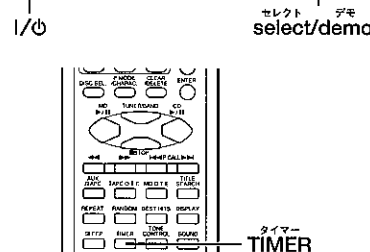
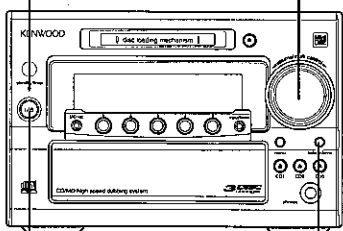
タイマー録音

設定した時間帯にラジオ放送または外部入力ソースを録音します。

- タイマー予約は、PROG.1とPROG.2の2つを、同時に予約できます。
- PROG.1とPROG.2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

- AUX (TAPE) 入力端子またはデジタル入力OPTICAL端子に接続された機器の録音、再生の場合は"接続のしかた"を参照して、接続を済ませてください。
- あらかじめ時刻合わせを済ませてから、タイマー設定を行ってください。

スタンバイ タイマー
standby/timer
インジケーター
ボリューム マルチコントロール
volume/multi control



1 聴きたいまたは録音したいソースを選び、音量を設定する

ラジオ放送を聴く	CDを聴く	外部入力ソースを聴く	MDを聴く	録音する
放送局をプリセットしておく - [25] - [26]	ディスクを入れる (プログラム再生はできません) - [18]	AUX/TAPE端子またはデジタル入力OPTICAL端子に接続した機器のタイマー設定をする	ミニディスクを入れる - [20]	MDの録音準備をする - [28]

- select/demoキーを押して諸設定モードにする
- volume/multi controlつまみを回して、"TIMER SET?"を選ぶ
- select/demoキーを押して"TIMER.SET?"を確定する
- volume/multi controlつまみを回して、"PROG.1(または2) SET?"を選ぶ
- select/demoキーを押して"PROG.1(または2) SET?"を確定する



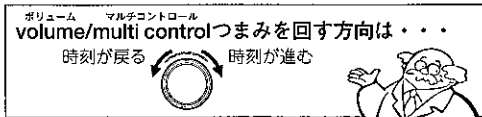
7 オン時刻を設定する

- volume/multi controlつまみを回して"時"を合わせる
- select/demoキーを押して"時"を確定する
 - "分"表示が点滅します。
- 再度volume/multi controlつまみを回して、"分"を合わせる
- select/demoキーを押して"分"を確定する



8 オフ時刻を設定する

- volume/multi controlつまみを回して"時"を合わせる
- select/demoキーを押して"時"を確定する
 - "分"表示が点滅します。
- 再度volume/multi controlつまみを回して、"分"を合わせる
- select/demoキーを押して"分"を確定する
 - 間違えたときは、手順④からやり直します。
 - 設定中は、設定中のタイマー番号が点滅します。



9 希望のタイマー機能を設定する

タイマー再生、受信、AIタイマー再生、受信をするとき

- volume/multi controlつまみを回して、"PLAY"または"AI PLAY"を選ぶ
 - PLAY タイマー再生、受信
 - REC
 - AI PLAY ... 徐々に音が大きくなるタイマー再生、受信



- select/demoキーを押して"PLAY"または"AI PLAY"を確定する
 - ソース表示が点滅します。
- volume/multi controlつまみを回して聴きたいソースを選ぶ("TUNER"以外を選んだときは手順④に進む)

- TUNER ラジオ放送
- CD CD
- MD MD
- AUX/TAPE 外部入力ソース(アナログ)
- DIGITAL AUX 外部入力ソース(デジタル)
- volume/multi controlつまみを回してプリセット番号を選ぶ(手順④で"TUNER"を選んだときのみ)
- select/demoキーを押してソースを確定する

次のページにつづく

ラジオ放送、外部入力ソースのタイマー録音をするとき

- volume/multi controlつまみを回して、"REC"を選び、select/demoキーを押す
 - PLAY
 - REC タイマー録音
 - AI PLAY



- ソース表示が点滅します。
- volume/multi controlつまみを回して、録音したいソースを選ぶ
 - ① TUNER
 - ② AUX/TAPE*
 - ③ DIGITAL AUX
- *ソースが [TUNER] (AUX) の場合のみ。 [REC] (TAPE) の場合は選べません。
- select/demoキーを押してソースを確定する
 - volume/multi controlつまみを回して、録音モードを選ぶ("TUNER"を選んだときのみ)
 - ① ANALOG ステレオ/モノラル録音
 - ② ANALOG MONO アナログ長時間録音
 - volume/multi controlつまみを回して、プリセット番号を選ぶ(手順④で"TUNER"を選んだときのみ)
 - select/demoキーを押してソースと録音モードを確定する

10 設定を予約する

- リモコンのTIMERキーを押して、"PROG1"、"PROG2"、または"PROG12"を選んでください。

11 1/0キーを押して、電源をオフ(スタンバイ)にする

- standby/timerインジケータが緑色に点灯します。
- タイマー機能を使って再生しているときは、SLEEPタイマーは使用できません。
- 時刻合わせが済んでいないときは、タイマー機能は使用できません。
- オン時刻とオフ時刻に同じ時間を設定すると、タイマー機能は働きません。
- PROG録音中は、スピーカーから音が出ません。スピーカーで聴きたいときは、volume/multi controlつまみを回して(リモコンのvolumeキーを押して)音量を調節してください。

タイマー設定が済んだら、電源がオフ(スタンバイ)になっていることを必ず確認してください。

PROG.12 FM 80.00MHz
TUNER P40

再び同じ内容のPROG.タイマーをセットする

- リモコンのTIMERキーを押して"PROG.1"、"PROG.2"、または"PROG.12"を点灯させる
- PROGの内容は、一番最後に設定したものが実行されます。
 - CD、MDの準備、音量の調節をしておきます。

- タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、standby/timerインジケータが緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。
- プログラムタイマー録音終了後、standby/timerインジケータが緑色に点滅している場合は、録音ができていないことがあります。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

タイマーを働かせたくないときは

電源がオンのときに、リモコンのTIMERキーを繰り返し押し、"O.T.T."、"PROG."を消灯させます。PROGの内容は再設定をしない限り保存されます。

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容

時計表示
N.B.

電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容

電源の状態(オンまたはスタンバイ)、A.P.S.、電源をオフにする直前のソース選択、AUXレベル、ボリュームレベル、バランスの設定、受信バンド、周波数、プリセット放送局、PROG.タイマーの設定内容、TONEの設定、REC LEVEL(録音レベル)の設定、REC INPUT(チューナー録音モード)の設定、CONTRASTの設定、BACK LIGHTの設定

MD部

電源オフ(スタンバイ)あるいは、電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約3日間です。長時間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するとき、下記の操作を行ってください。

1. ▲CD1~3キー、▲キーを押して、CD、MDを全て取り出します。
2. ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

CD NO DISC

MD NO DISC

3. 数秒間待つて、電源をオフ(スタンバイ)にします。

ドルビーラポラトリスの米国および外国特許に基づく許諾製品

ステレオ音のエチケット

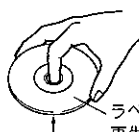


楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にいたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本機で使用できるディスクについて

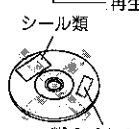
CD(12cm、8cm)、CD-G/CD-EG(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。ディスクレーベル面に  のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

ディスク取り扱い上のご注意

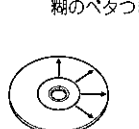


取り扱い

再生面にふれないように持ってください。



再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図のようにクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があります。ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。シール類を剥がした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

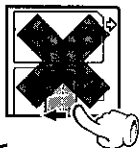


ミニディスクの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

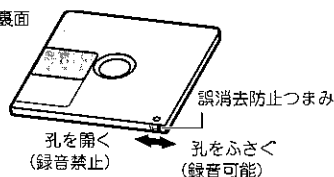
お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

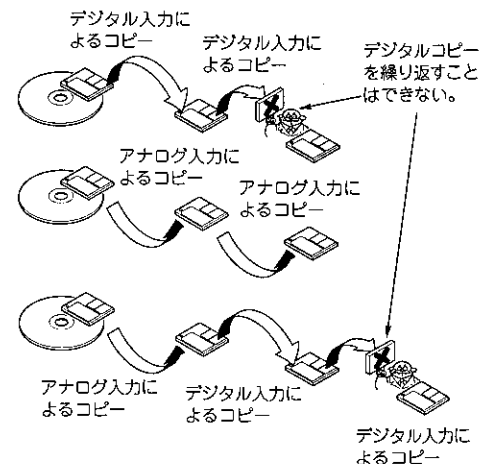
録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

ミニディスク裏面



SCMS (Serial Copy Management System) について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



サンプリング周波数について

通常、デジタル信号には次の三種の種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

48 kHz: DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。

44.1 kHz: DATの標準モード、CD、MD等。

32 kHz: DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

(DAT: Digital Audio Tape Deck)

本機は、サンプリングレートコンバーターを内蔵していますので、48kHz、32kHzのデジタル信号を44.1kHzに変換して録音できます。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記をお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティタワー11F

電話(03)5353-0336(代表)
FAX.(03)5353-0337

異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、表示部の誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

●リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、本体の^{セレクト}select/demoキーを押しながら、差し込み直す。

アンプ/チューナー/CD/スピーカー部

症状	原因	処置	参照
音が出ない。	●スピーカーコードが外れている。 ●音量を最小にしている。 ●MUTE状態になっている。 ●ヘッドホンプラグが差込まれている。	●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●適当な音量にする。 ●MUTEを解除する。 ●ヘッドホンプラグを抜く。	→ 16 → 17 → 16
スタンバイ/タイマーstandby/timerインジケータが赤く点滅し、音が出ない。	●スピーカーコードがショートしている。	●一時電源をオフ(スタンバイ)にして、ショートを取り除き、再度電源をオンにする。	→ 7
スタンバイ/タイマーstandby/timerインジケータが緑色に点滅する。	●タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたため時計設定が解除された。	●時刻合わせをやり直す。	→ 69
ヘッドホンから音が出ない。	●差し込みが不完全。	●正しく差し込む。	→ 17
スピーカーの片側から音が出ない。	●スピーカーコードが外れている。 ●バランスの設定が片寄っている。	●"接続のしかた"を見て正しく接続し直す。 ●左右のバランスを調整する。	→ 17
突然、電源が切れた。	オートパワーセーブ ●A.P.S.機能が働いた。	オートパワーセーブ ●A.P.S.機能を解除する。	→ 3
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。	●時刻合わせを再度行う。 ●時刻合わせを再度行う。	→ 69
タイマーが作動しない。	●時刻合わせをしていない。停電があった。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻が同じである。 ●タイマーの予約をしていない。	●"時刻合わせ"を見て現在時刻を合わせる。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 ●タイマーのオフ時刻をオン時刻より遅い時間に設定する。 ●"□ 設定を予約する"を見て"PROG.1"または"PROG.2"表示を点灯させる。	→ 69 → 73 → 73 → 74
放送局が受信できない。	●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。	●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。	→ 6 → 24 → 24
雑音が入る。	●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。	●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。	

アンプ/チューナー/CD/スピーカー部

症状	原因	処置	参照
プリセットしたあと、プリセットコールで受信できない。	●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●長い間、電源コードを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。	●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。	→ 25 → 26
突然、デモンストレーションが始まった。	●電源プラグを抜いた、あるいは停電があった。	●故障ではありません。 ^{セレクト} select/ ^{デモ} demoキーを押して、解除してください。	→ 3
ディスクを入れても再生できない。	●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクがずれている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズに露がついている。	●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●ディスクを正しく入れ直す。 ●"ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り替える。 ●"結露にご注意"を参照し露を蒸発させる。	→ 18 → 76 → 76
音が出ない。	●ディスクが入っていない。 ●再生状態になっていない。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。	●ディスクを入れる。 ●▶/⏮ キーを押す。 ●"ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り替える。	→ 18 → 76
音が飛ぶ。	●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に振動が加わっている。	●"ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り替える。 ●振動のない場所に設置する。	→ 76

リモコン

症状	原因	処置	参照
リモコンで操作できない。	●電池切れ。 ●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ●ソースがCDまたはMDのとき、CDまたはMDが入っていない。 ●録音中のMDを再生しようとしている。	●新しい電池に入れ替える。 ●操作範囲内で操作する。 ●CDまたはMDを入れる。 ●録音が終わるまで待つ。	→ 19

MD部 (MD規格等の症状)

症状	原因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。 <small>ディスク フル</small>	●255曲以上(トラック番号255以上)は録音できません。(トラック番号255未満でも録音できないことがあります。)このとき、表示部の録音可能な総残り時間表示は、"0:00"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイの録音可能時間表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	●編集処理の結果として新しくできた曲は、つなげない場合があります。

MD部 (MD規格等の症状)

症状	原因
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間と一致しない。	●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集してできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れが発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	●録音したソースによっては、トラック番号が正しくつかないことがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	●新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
アナログ長時間モードで録音されたディスクのとき、時間表示が不正確になる。	●アナログ長時間録音と通常のアナログ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

MD部 (その他の症状)

症状	原因	処置	参照
マルチキー▶▶を押しても音が出ない。	●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ディスクが入っている。	●ミニディスクを入れる。 ●録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。	→20 →20
録音ができない。	●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●AUX録音時の録音レベルが低い。 ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●ソースがMDになっている。 ●録音時間が短かすぎる。 ●メニューモードになっている。	●書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なディスクに取り替える。 ●録音形式を"ANALOG"に切り換えてから録音する。 ●入力レベルを調整する。 ●録音用ミニディスクを入れる。 ●ミニディスクを入れ替える。 ●録音したいソースにする。 ●1秒以上録音をする。 ●input/homeキーを押してメニューモードを解除する。	→76 →30 →68 →28 →3
音がひずむ。	●録音時に録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。	●録音入力レベルを調節する。 ●再度録音をする。	→30
雑音大きい。	●外部の雑音を誘導している。	●電気器具、テレビなどから離す。	

MD部 (メッセージ表示の一覧)

ディスプレイ表示	意味	処置	参照
ミニディスク NO DISC	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。	→20
SCMS	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●デジタル録音はできません。 ●録音形式を"ANALOG"に切り換えてから録音する。	→27 →30
UNLOCK	●角形光コネクターが外れている、あるいは接続が不完全である。 ●サンプリング周波数が38 kHz、44.1 kHz、48 kHz以外の外部ソース機器を接続している。	●角形光コネクターを正しく接続する。 ●本機に適合するサンプリング周波数の外部ソース機器を接続する。	→9
ディスク フル DISC FULL	●録音可能なエリアがない。 ●256曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●1枚のディスクには256曲以上録音できません。	
フル FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。	→63
フランク ディスク BLANK DISC	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。	
リーディング READING	●TOC *1、UTOC *2情報を読んでいます。	●故障ではありません。	
ライティング MD WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいます。	●故障ではありません。	
ユーティリティ エラー UTOC ERROR	●TOC *1、UTOC *2の内容が異常である。	●"ALL ERASE"を行う。それができないときは、ディスクを取り換えてください。	→56
キャンセル エディット CAN'T EDIT	●長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集しようとしている。 ●録音、編集後ディスクを取り出して録音、編集情報を記録していない。	●制限範囲内で編集する。 ●▲キーを押してディスクを取り出す。	→20
okの点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	●ENTERキーを押すと、編集が実行されます。	
プロテクト PROTECTED	●ミニディスクが録音禁止の状態(PROTECT)になっている。	●録音可能状態(プロテクトを解除)にする。	→76
プレイ オンリー PLAY ONLY	●再生専用ミニディスクである。	●録音用ミニディスクをいれる。	
ノット オーディオ NOT AUDIO	●オーディオ信号でないデジタル信号が入力されている。	●接続した外部ソース機器でオーディオデジタル信号を出力する。	
プリーズ ウェイト PLEASE WAIT	●CD倍速録音をはじめから、74分以内に同じディスクを倍速録音しようとしている。	●表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめ。	
キャンセル プレイ CAN'T PLAY	●未録音のミニディスクなど再生できないミニディスクを再生しようとしている。	●再生できるミニディスクと交換する。	

*1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

*2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションへお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

修理をご依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションが修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状 (できるだけ具体的に)
- ご住所 (ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 ()

[本体部]**[アンプ部]**

実用最大出力 25W+25W (EIAJ 6Ω)
スーパーウーファープリアウト 1.8V/600Ω
入力感度/インピーダンス (インプットレベル+2")
AUX 200mV/47kΩ
出力レベル/インピーダンス
TAPE REC 200mV/2.2 kΩ
周波数特性
AUX 40Hz~40kHz、(+0dB、-3dB)

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲 76MHz~90MHz
アンテナインピーダンス 75Ω

AMチューナー部

受信周波数範囲 531kHz~1,629kHz

[MDレコーダー部]

読み取り方式 非接触光学式読み取り
(半導体レーザー)
記録方式 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 ATRAC
D/Aコンバーター 1Bit
ワウ・フラッター (EIAJ) 測定限界以下

[CDプレーヤー部]

読み取り方式 非接触光学式読み取り
(半導体レーザー)
D/Aコンバーター 1Bit
サンプリング周波数 8fs (352.8kHz)
周波数特性 (EIAJ) 20Hz~20kHz
ワウ・フラッター (EIAJ) 測定限界以下



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

- 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 AC100V、50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) 55W
最大外形寸法 幅 220mm
高さ 146mm
奥行 358mm
質量 (重量) 5.7kg (正味)

[スピーカー部]

エンクロージャー バスレフ型
スピーカー構成
ウーファー 110mm コーン型
ツイーター 25mm ドーム型
インピーダンス 6Ω
最大入力 30W
最大外形寸法 幅 145mm
高さ 270mm
奥行 228mm
質量 (重量) 3.3kg (1本)